

## VII 自由回答



## 【インフラ整備】

- ・学校までの道が安全なのか全部の場所を見直してほしい。山から道に垂れている木など整備してほしい。市町村の備蓄品の確保。
- ・山の方に住んでいる方は道中に崖崩れがあると道が通れなくなる。その為、建設関係の職場と予め話をして、崖崩れがあると思うところにネットを貼るなどを対策してほしい。また、高齢者が多い場所で怪我などがおこると山に住んでいる人は、ヘリでしか病院に行くなどの対応できないのでヘリポートを増やすなどしてほしい。
- ・東洋町は孤立します。北からも南からも。一刻も早く高規格道路を実現して下さい。命の道です。
- ・高知県は道路が海岸に近い津波が怖い。道路の通行が出来なくなる。
- ・一般道、高速道路の整備を早急に進めてほしい。
- ・交通網が寸断されると救助活動に入って来られない事が予測され、とても不安に思う。自衛隊等、海、空、陸、田舎まで入って来られないと思う。救助活動の為の交通網の整備を早く。
- ・道路が寸断される地域の為、道路以外の物資搬入や傷病人の搬送経路等、対応策を事前に決めておくべき。
- ・奈半利町は山がたくさんあるので山の切り開き、大きい道路をつけて避難できる場所を整備してもらいたい。(津波でほとんどが水に浸かると思うので)
- ・私は阪神大震災の被災者です。住んでいた自宅から300m先に高速道路が(神戸市東灘区)倒れていました。電気は4日間、水道が2ヶ月、ガスが3ヶ月とまりました。友達や友達の家族も亡くなり、近所の人でも何人も亡くなり、近くの小学校には死体がゴロゴロしていました。あのような思いは2度としたくないです。あの当時は神戸に地震が起こるとは誰も思っておらず、自宅に何の備えもなく、震災当日は食べ物がなく、1本2,000円の焼きいもを買った人もいました。ドアの壊れたコンビニや倒壊した家に泥棒が入ったり、治安も悪くなりました。そんな社会にならぬよう、避難場所に安心安全で行けるよう、物資もすぐ届くよう、高速道路を早く作るとか整備して欲しいです。(避難場所のトイレの用意など)倒壊しそうな家に住んでいる人には公務員宿舎などのあいている部屋を利用して住めるようにするとかして、倒壊家屋の下敷きでの死者数をゼロにして欲しい。津波からの避難の際、渋滞が予測されるので、安全な場所へ逃げるための道路を整備してほしい(大きな地震の後は道路も隆起して通れなくなるので更に渋滞が起こる。救急車も消防車も動けなくなる)
- ・道路添いにある倒壊しそうな空き家や塀の対策をお願いします。通学路でもあるので安全対策が必要と感じます。
- ・災害後すみやかに道路を車の通行が出来る態勢にする事。
- ・津波が防げたらなんとかなる。高層の構造物や高速道路が倒れたりしないようにしてほしい。輪島みたいになるのは(なってしまうと)、仕方ない。火災系はどうしても起こる。
- ・避難方法の確保。避難路の整備と常時使用できる維持管理(地域まかせになっているが高齢化のために使用不能の避難路多い)高齢、障害などで自力避難困難者を車輛等で移動する対策、発災後対策の早期実施、当市中心部は長期浸水地となっているが、避難者収容先が不十分、住居減失者が長期生活できる仮設住宅用地などが準備されていない、人命・人権を守るための対策が急務(食料、水、プライバシー保護)。自治体はもとより、国が防災対策予算を大切に増やす必要あり。
- ・地震による各道路の寸断、各地であります。高知市から幡多郡大月町に出張が多い。車移動で大方から土佐清水市経由、中村～宿毛経由で大月町に。津波で、道路が寸断だと行けません。高知市から幡多郡大月町まで車で4～5時間ですが、地震が来た時には、高台のどこに逃げるにしても少ない、運転中に津波が来ても泳げないので覚悟はしています。県外のナンバーの多く、道路に避難所などの標識があった方がよいのではないのでしょうか。西方面だけではないですが、車は確実に移動手段です。ガソリンスタンドも少ないので、燃料確保、病院、医療面が特に心配です。
- ・避難経路、緊急搬送経路、物資運搬経路となる道路が1本しかなく、土砂崩れで寸断される可能性が非常に高い地域の在住です。孤立する事を覚悟はしていますが、乳幼児もおり、食事形態も成長と共に変化し、備蓄にも限界があり、長期孤立、長期停電を恐れています。
- ・子どもの通学路が心配。
- ・古い建物、ブロック塀など、持ち主がなかなか動けない場合も多いと思うので、地震対策として自治体が動いてくれることを期待します。
- ・防災アプリの充実。
- ・自宅付近の状況はある程度把握しているが、出先で地震が起きた時、速やかに避難できるような機能があると助かる。

## 【災害後の対策】

- ・復旧に全力を注いで下さい（建物の損壊や道路補修、水の汲み出し）。
- ・ルールも必要ではあると思いますが、臨機応変にやさしい方向に対応できる状況になればと思います。地震発生後セラピストなどによる心の救済があれば良いと考えます。
- ・災害は100%起こります。後の復興にはとにかく（道）が不可欠です。それと（安心）を行政が確保する事です。よろしくお願いします。
- ・地震後の生存者に対する生活再建の経済的支援。
- ・地震後の対策もちろん大切だが、地震が起きる前にできる対策をしっかりと考えて、県民の命を守ってほしい。
- ・混構造建築物にも耐震診断及、工事に高額補助を。1階鉄骨造車庫2、3階が木造住宅というケースが多い。倒壊しやすい建物です。
- ・支援物資ルートの確保。医療支援チーム強化。
- ・高知県、各市町村で地震が起きた時の防災、避難等については十分尽力して下さっていると思いますが、地震が起きた後の支援策をもっと強化して被害にあっても安心してらせるように助けていただきたいです。（住んでいるところが半島地区なので、自宅は高台にあり津波は大丈夫ですが、その後の生活が心配です）
- ・発災後の支援、復旧、復興への十分な備え（必需品や予算含め）をお願いします。
- ・震災後の生活再建、失職者のサポート。

## 【自主防災組織】

- ・普段仕事で、家に居ることが少ない働く世代の人たちにも自主防災に参加しやすいよう、お知らせ（回覧板のようなもの）をして欲しい。地域の方で、比較的、時間にゆとりのある方々数名で、地区の自主防災のとりまとめをしてほしい、地区の皆がいざという時に、適確に行動がとれるよう、事前の会合などをして欲しい。
- ・自主防災組織の長をしているのですが、私自身も77才と高齢です。長をやる人もいないし、責任もあるので大変です。常に倉庫の備品交換、高齢者の声かけ、部落長と民生委員との交流をしています。今日、豊後水近に震度7の地震がありました。自主防災組織としてどうあるべきか、常に緊張しています。
- ・地域での自主防災組織の役員の1人ですが訓練に参加する人が少ない。隣近所がコミュニケーションをとり助け合いや参加に誘うなど自分で自分を守る訓練も必要と思う。
- ・市（県）→自主防災組織→各家庭への連絡網、役割などが一目でわかるような「表、図」があればよい。
- ・町のやっっていくこと、地域のやっっていくことは別だと思う。同じ町でも、地区により災害も準備することも違うと思う。地域に任せてもバラツキが出るだけ。各市町村に防災カウンセラーを置いて、ある程度指針を示して誘導していかなければ、その地域にあった特性のある自主防災の強化ができないのではないだろうか。地域のつながり、地域によって想定される正しいであろう準備と知識が、足りていないと思う。
- ・自治体職員による対応はマンパワーを考えても無理があります。周知等は外部委託により行い、自衛の必要性を呼びかけないと限界があると思います。県も市町村の防災の職員さんは手一杯で頑張っていて、限界があると思います。
- ・自主防災組織と市町村の連携の強化。

## 【災害対策】

- ・震災車の活用促進。人命救助の推進。消火器の使用法推進。
- ・ガラス飛散防止フィルムの配付。
- ・地域の防災放送、（スピーカー）が聞こえない所がある事を理解（アンケート）する事が大切。市町村がもう少し力を入れるべきではないか。
- ・川の氾濫を防ぐ。

## 【災害対策】

- ・河川や海岸浴い等の堤防、防潮堤の改修・強化・各家庭への災害時の飲料水や食料品等の備蓄品の配布。
- ・道幅の狭い通りの建築物で明らかに倒壊の恐れがある所を重点的に調査。早急に耐震化をしてもらうなり解体してもらうなりしないと、至る時で避難路が塞がれ逃げ遅れると思います。助かるはずの命が助からなくなれば、当然人手も減ることにもつながります。高齢者など多い地域だと人手もたくさん必要になると思いますので、そういう方々のためにも早急に対応していただきたいです。各避難所に警察官の方などは配置していただけるのでしょうか？震災時はいろんな犯罪が増えると聞きます。あまりこのことについての対策は耳にしません、せつかく生きのびたとしてもそれで命を落としては助かった意味がありません。震災後のことも過去の震災に起こった事を参考にして対策を考えていただきたいです。
- ・絶対に無理だと思いますが、放置空き家対策。自宅周辺に空き家が10軒あります。半年程前に隣の空き家の2階の雨戸が路地に落ち危険性を感じています。自宅解体費用の補助金を上げるブロック塀等撤去の補助金を上げる
- ・これを機に、家具を固定したり、子供と話し合うなど、改めて考えてみたいと思いました。
- ・避難タワーを沿岸地域で設置してくださっているが、海拔+建物の高さが本当に足りるのか甚だ疑問です。何か根拠があるのか、また根拠があれば分かるように明示してもらいたい。
- ・自宅から避難所までの確定最短ルート情報。避難所を増やす。倉庫の設置場所を以前より増やす。普段から回りの塀や地面などのコンクリート、各家の耐震点検。防災グッズのお店みたいな建物(簡易)を各市町村に建てる。防災知識の事が分かりやすく載った辞典(冊子)を作ってみなさんに配布する。
- ・危険な場所や建物についての調査を進めて頂きたい。住宅付近に危険物(燃料タンク)がある場所もあるのではないのでしょうか。
- ・避難所の見直し、避難ルート確認。備蓄管理。

## 【啓発活動・情報発信】

- ・地震時の火災が原因と分かっている6~7割が電気復旧地の電流の流によるものとは知りませんでした。こんなことを、住民にいきわたるようにしてほしい。このことを知っただけで、地震がおきたらまず、ブレーカーを切ろうと思いました。この気づきは大切と思います。
- ・高知県に臨時情報が出たら、高齢者等は、焦りや、逃げ遅れがあるので、特に危険区域の人は、どこに避難するのか、いち早く的確な指示が伝わる様、テレビで流してもらったり、グループ別担当職員の振り分けと、安否連絡先の名簿作り及び日頃の訓練や、指導が出来ていれば良いかと思います。一人でも命が助かれば幸いです。
- ・宿毛市では震度6弱の地震がありマンション4Fに住んでいるため、激しい揺れで家具が倒れ、食器はすべて割れ、後始末が大変でした。大量のゴミ袋を買いに地震直後から、後片づけに追われました。近所の方から市役所でゴミ袋を配っているよと知ったのは10日ほどあとの事です。もっと早く知らせるべきだと思います。
- ・まずは人命が守れるような対策(住宅の耐震強化や、人命を守るにはどうすればよいか、何が要因で亡くなる人が多いかをたくさんの人に知ってもらうには?)人命が守られた後の避難所での生活で注意することは何か。など具体的に知りたい。復興の目処(生活に必要な水、電気の確保時期)の情報を知る方法。子供の命を守り、安心して生活できる対策(衣、食、住の確保。メンタルの安定)。
- ・ハザードマップの更新。避難所内のストック品の確保。
- ・防災への取り組みは非常に重要であると思いますが、被災後の生き辛さに対する不安を軽減できるような取り組みにも力を入れていただき、情報発信していただきたいです。

## 【啓発活動・情報発信】

- ・アプリや掲示板などで安否確認や避難場所の確認が出来るようなものがあればチラシや広告、SNS、などで分かりやすく配布や告知をしてほしいです。
- ・学校への指導をよろしくお願いします。
- ・事前対策の必要性があることは知っているが、実際に対策はしていないという家庭がほとんどだと思う。その理由としては、人は脅威だと感じ対策を講じようと思っても、その感情は一時的なものであるからだ。時間が経つにつれ薄れていき、優先順位がどんどん下がっていく。そのため、しつこく津波の脅威や実際に被災しか方の後悔等を発信しつづけることで、脅威を忘れさせないようにする。媒体は、テレビ、SNS等なんでもよいが、優先順位をさげさせない、脅威を忘れさせない環境作りを望みたい。
- ・第一に自分の命を守る。耐震家住宅、家具固定、火災（電源等の）の重用性をもう一度、この際に県民に伝えてほしいです。命があれば、自主防災やボランティアで助け合う方法等を各地域にて作るようにリーダーを作るとよい。（救護の方法や支える事があれば学習してみたいです。）
- ・被災も避難もしたことないので、たとえば直近の石川などでどのような1日がどのくらい続いたか具体例がほしい。家に人手がない中、どのような配布があって、どのような手続きがいつ必要なのか事前に知っておきたい。市も県もホームページで欲しい情報へたどりつきづらい。
- ・津波＝防災マップを見て下さい。的な事しか聞こえない。→周知が必要！！来る事は解っている→あきらめ＝年寄りも良しとして、若者を守らなければ、未来はないと思っている。ならどうする！＝今回のアンケートの答えです。
- ・防災グッズを準備するために必要なものを細かく記載されたパンフレットを各家庭に配布する。（必要なもの・あったらいいもの、各個数を記載）避難所・高台マップの配布。
- ・地震発生時、どのような手段でどこに避難したらよいか、パニックになると混乱する可能性があるのので、地域でSNSで知らせてほしい。（皆が車で避難すると大渋滞になるし大変です）
- ・自分が住んでいる地域の避難所がすぐに分かる資料がほしい。携帯で見て見たが分かりにくい。
- ・情報を分かりやすく教えて欲しい
- ・おおそね甲に住んでいますが、南国市の商工会館からの放送が、自宅からは何をいっているか全く聞き取れません。せっかく流しても意味が無いと思います。
- ・情報を必要としている人に迅速に確実に正確に届けること
- ・子どもがまだ小さいので、子どもの親や家族は、避難時や被災後に過ごしていけるのかが不安です。住んでる自治体での避難場所が本当に安全なのかも分からず、かといって他に避難できそうな場所も無いので、尚更実際に起きた時のことを思うと不安です。その不安をどうすれば取り除けるのかをもっと具体的に県や市町村には取り上げてほしいですし、SNSなどの媒体でも伝えてほしいです。なんせ子どものことが不安です。
- ・地域の若者達に防災活動を通じて、助け合いの精神や、命の大切さを育むような取り組みを行って欲しい。各避難所の位置情報のみならず、収容人数、備蓄品、設備の情報などを、県民が日頃から知り得るように情報発信して欲しい。自分の地域の避難所情報を知っていると安心して暮らせる。
- ・このアンケートが届いた日に、日向灘で地震があり、現在も高齢者等の避難情報が出ています。疑問があり、なぜ高知市は出ていないのか、沿岸部全域は出ていないのかということです。こんなことが細かく分かる情報が知りたいと思いました。

## 【要配慮者】

- ・要介護の老人がおり、毎日のオムツは不可欠です。
- ・高齢者で、持病がある者への持病薬を早く届けてほしいです。
- ・高齢者や、小さな子ども達が逃げ遅れる事のないよう、日頃からの呼びかけや、地域の協力体制づくりが重要だと思います。
- ・もう年だからいいと思っていたけどこれを書いている時、8/8地震があったので、これからはもっと勉強しようと思いました。
- ・高齢者への又、障害者への声かけ（避難時）誘導・転入時、自治会長の氏名が分からない（分からなかった）
- ・古い借家や賃貸に住んでいる、独居者等の把握。（家主・管理会社等との連携による）→発災後に、見落される可能性が高いため。自宅にいる時に発災するとは、限らないため、仕事先での避難場所での受入態位の整備→地域住民以外の場合、様々な面で、対応に差が出るのを防ぐため。（田舎に行く程強いと思う）発災後の避難所での弱者の保護→過去の大震災では弱者（特に女性）が、表には出ていないが、虐げられることもあったため。

## 【要配慮者】

- ・身体、精神障害者が避難所で困ることがないように、障害者専用の避難所を作って対策をしてほしいです。あと、薬をのんでいる人に対して限日で対策できる医療支援チーム作りを進めてほしい。すぐに対応はむずかしいと思うが、障害者が避難所生活をつづけるのは、むずかしいことだから県や市町村は、弱者に対してもっとわかりやすいPR活動をしたりしてほしいです。
- ・長期間避難所生活となる場合を考えて、特に女性・老人・に配慮した場所を確保してほしい。市や県のトップの方々、実際被害にあわれた方達の「生の声」を聞きに行き、どうすればいいのかわかる事が大切だと思います。男性には分からない事が多いのが現実。固った時に是非「力」になって下さい！！お願いします！！
- ・町内会につきましては、独居老人、又空き家も増えて、なかなか、皆での訓練など難しい所に来ています。高齢者世帯への、わかり易い防災の周知、指導、声かけなど、必要ではと思います。子供達に対しても今よりも防災について授業化し日頃より、指導していくことも、重要ではと思います。
- ・障害者、高齢者など弱い人々を張先的に助ける仕組みをととのえてほしい
- ・高齢者の方ほど、古い家屋に住んでいる傾向があり、耐震工事も援助の受け方がよくわからず進められていないように感じます。若い世代の人が声をかけたり、出向いたりして対策をしないと、そういう家が倒壊して被害が出たり、火事になったりするのではないかと考えています。土佐市の比較的新しい賃貸の家に4年ほど前より住んでいますが、正直地元の方との繋がりは、子どもの保育園の先生・保護者を除いてほぼ皆無です。(子供が生まれた時に一度だけ民生委員さんがきました)近所に助けが必要な人や気にかけてくれた方がいい家庭があるのかどうかわかる術がありません。民生委員さんなども、皆年齢が高い方が多いと思いますし、実際有事の際は困るような気もしています。何か若い世代がコミュニティをもったり、地域に関わり動けるようなことはあるのでしょうか？私が知らないだけなのかもしれませんが、賃貸の場合だからなのか、特に地元の広報誌なども配られませんし、どういった取り組みや機会があるのか分かりません。そういうものは賃貸など関係なく、分け隔てなく配布していただきたいというも思っております。防災意識を高めていけば1人でも多くの命が救えると思いますので、よろしくお願いします。

## 【防災への意識】

- ・防災の必要性を詳しく伝える定期的に各地区をまわり直接伝える機会を増やす。県・市町村の熱意がまず必要である。
- ・2日前に巨大地震注意になり、対策を見なおし自分の見の廻りの物を片づけ、準備力が必要だと思いました。速く対応をします。
- ・南海地震の「巨大地震注意」情報が発令され、その可能性が更に大きくなったと実感しています。
- ・今まで以上に踏み込んだ各項目への対策を行っていく。
- ・行政だけでなく、事業所や病院など、組織を超えた連携。支援をしてもらえるよう、他県との関係づくり。
- ・危機感を意識づけるよう、地域での必要性を徹底する(このアンケートにて感じました)。地域(市町村)のお知らせ放送があるけど聞きとりにくいので行きわたる様にしてほしい。
- ・先日の地震で南海大地震がより身近に感じ備えをしなくてはと思った。
- ・いつ発生するかわからないので準備だけはしておきたいと思うが不安だらけ！必要な施策は早急にすすめて欲しいです。
- ・個人個人が防災に対する意識を高めるために啓発運動等に力を入れてもらいたいです。
- ・自分の住んでいるところの、どこが、どういうところが危ないのか、家も含めて、今より細かいところを知りたい。
- ・能登地震のあと6ヶ月たっても、一般家庭の修善がとどこうっている罹災証明ももらえるまでも、大変だったと知人から聞いている。事業者も被災者となるので陸の孤島となる高知県も同様のことが想像できる。官と民でどのように対応できるのか、しっかり考えてほしい。北海道2018年地震に旅行中遭遇した孫は、ホテル・社協・避勤所とたらいまわしにあって、土地感のない所で途方にくれたと言っていました。各個々の訓練も必要ですが、どうしたら上手く連携がとれるか、考えてほしいと思います。
- ・場所によって色々違うと思うので、その場に合った支援をできる様に、まず自分達ができる事をする事だと思う。おまかせにならない様にしたい。出来ない事は助けてもらいたい。
- ・「自分や自分の家族は自分で守る」という概念を県民に、拡大してほしい。地震に関して利権や忖度の無い学者や人、団体による知的で現実的な情報を広報して欲しい。
- ・危機意識はありますが、何の備えもすることなく日々の暮しに追われています。

## 【防災への意識】

- ・私を含め、まだまだ地震防災に対する意識力が薄いと思います。繰り返し、防災対策や防災訓練の必要性を広報活動で強化をしてほしいと思います。
- ・防災対策は早急に取り組むべきだと思います。長期のものも少しでも早く取りくんで頂きたいです。
- ・高知県は東西に長く人口が分布されています。田舎に行くほど、施策もむずかしくなると思います。どうかヘリコプターなどが着陸出来る場所を増やし、田舎を見捨てることのないようお願いします。
- ・防災の視点からのまちづくり・平時からの備えを個人に伝える。仕組みづくり。
- ・いろんな年代の人が一緒に楽しく学べる防災学習や訓練の実施。ペットも共に気がねなく避難できる避難所の設置。
- ・何時かは起こる、ではなく、必ず起こる絶対起こると思って対策を講じて欲しいです。大変だとは思いますが、よろしくをお願いします。
- ・この調査書がといた次の日に、南海トラフ地震警戒アラートが発信されました。そして、急に身近かになり、備蓄の品を買いに求めたり（品切れで入手できない物もあった）。家具の固定など、危ない所から手を付けています。まだ完全ではありませんが、家具の配置の見直しなどしている最中です。能登の地境の様子を見ていて、まだ、片付けが何も進んでいない地域があったりして、大規模な南海地震が起きた時などは、どうなるんだろうと考えてしまいます。やはり耐震化を進める事と、長期化した時の対策が一番気になります。私達の地域では、避難所が低地にある為、あまりあてにならない気がしています。自宅にもどれない時に避難する場所があるのが気になります。
- ・あらかじめ各家庭で各場面に対してどうするのか確認をする事を促す。
- ・同じ地震でも規模、時期、地域など個別性あるので防災対策って本当に難しいと思う。高知県は防災意識高いと思う。高知県は頑張っていると思う。この調子でいいと思う。今の時期とても暑いので、こんな季節に避難所生活になったらどうしようという不安はある。コロナも心配。
- ・誰かが助けってくれると思うと全てを依存してしまいがちです。高知には人員も財源もない、全ての民の命を救うことは不可能です。自分や大切な家族の命は自分たちで守ることを前提に考えて下さい。そうシビアに伝えた方が良くと思います。緊張感は必要です。行政には、有事の際、住民と行政を繋ぐ大きな命綱であって欲しいと思います。水や食料・生活に関わる全般がスムーズに解決できるように、また他県・国からの援助を頂けるように。お願い致します。
- ・自治体に頼り切らず自分たちでできることは自分でやりたい。
- ・中学生、高校生からの防災意識、防災士など学校単位での受講、救急講習への参加しやすさ。

## 【経済面】

- ・災害道具や特に非常食が高すぎて買いたくても手が届かない
- ・経済的に苦しい日々の生活が背いっばいで、大震災は、自らの終止符とあきらめて生きています。
- ・防災対策についての補助金額の引き上げ。
- ・補助金の強化。若い人が積極的に協力できる環境作り（いざという時に、若い人の力が絶対必要のため、何ができるのかを考える環境・体制作り）
- ・各家庭に無料か、格安で耐震診断をしてほしいです。どこに頼んだらよいかわからないです。
- ・私は独身で低収入であること、両親も年金受給者のため経済面での不安があります。住宅の倒壊で、まず生き残るかが分かりませんが運良く生き残ることができた場合は、避難生活が長く続くと予想されるため、その部分でも経済面での不安は大きいです。長い避難生活を支える（精神面・身体面・金銭面）対策をお願いいたします。
- ・県（行政）が各家を見回って、耐震に備えてるかどうかの判定をして、そうでなければ補助金等を出して耐震に備える。

### 【避難場所】

- ・地震、津波など大災害により、復旧・復興が出来ない地区地域が必ず出ると思う。事前避難情報が出る前に、前もって避難生活が出来る、又は定住出来る場所を確保するべきではないか？地震津波が来る前に前もって生活可能な、避難所を造るべきと考える。
- ・避難場所生活になった際、生理用品等への不安と衛生面の心配。
- ・ペットと避難できる場所を増やす。非常時に動物の事は二の次という意見もあるが、犬と一緒にないと不安で避難できない。離れ離れになる位なら、避難しない。
- ・私の住んでいる所は高齢者が多く、空き家がとても多い所です。空き家を市や自治会で管理できるようにし、災害の時には一時避難所として使わせていただけるようにすることも大切なことではないかと思えます。高齢者が多いためか、防災意識の低さに驚かされます。地域でもう少し力を入れて、皆で防災について考えることが大切だと思います。地域に合わせた防災について考えていただければと思います。
- ・ペットと一緒に避難できる場所・施設の情報・要介護または要支援が高い方向への、福祉避難所情報・避難所で最低限度の福祉サービス（物資の代行、移動介助など）の保障。介護を除く生活支援。
- ・ペット可能な避難場所などを多くしてほしい。

### 【避難場所】

- ・浦戸湾左岸・右岸地域では、早い時間から津波が到達します。住民の努力だけでは、被害が増えるだけです。左岸・右岸それぞれで、協議会を設置して、地区で事業を行っている事業所・医療機関・量販店等の出席を義務化して、避難所の運営や備蓄の確保等、地域単位をグループ化して、対応するネットワーク作りが必須と考えられます。（組織化）住民個々の努力では被害者を減らすことは困難である事は、周知の事実です。（東北や石川県の例でも明らかとされています。）
- ・学生に対しての対応。遠方から交通機関を使って通学している子、自転車。
- ・できるだけ早い避難所づくり（自宅の壊れでライフラインができなくなる。プレハブ）。
- ・避難場所は山に階段がついていますが、行き止まりで、そこには広場も何も無く、高齢者が階段を登る事は無理です。何日か過せる場所、物品の準備等全然進んでいません。話し合いもありません。私達高齢者は家族に振り向かず逃げてもらいたいと話してあります。地域を見ても今でも山に登れない方が多数います。どうしたらいいのでしょうか？
- ・地震が起きた時の避難場所はこころしいというあやふやな情報しか持っていない。そこへ行くのに橋を渡るけれど橋が落ちて通れない時はどうするか！など具体的につめていくことが大事だと分かっているけれど、周りも動きがないため今に致っている。出来れば具体的に、この時はこうしようとか、ここへ避難するべきとか、具体的に話し合っ住民と一緒に考えるべきだと思う。今は訓練ですとサイレンになって参加しているのかしていないのかわからない状態。
- ・我が家は浸水地域ではなく、自宅は耐震住宅であるため、災害時は自宅で過ごすことになると思われまます。一日も早いインフラの回復が出来るような対策を望んでいます。
- ・集団生活ができないので、住む所を確保してほしい。空き家、トレーナーハウス、テント等。
- ・災害時の避難場所が不明。
- ・ペット可の避難所を多くしてほしいです。
- ・浸水予測場所に避難所があるのはどうかと思う。まず先にそういう地域に安全に避難できる設備施設を作るべきだと思う。実際に地震後浸水して避難所が開けられず家の中にいるしかなくなると県の取り組みはゼロでしかなくなるので。
- ・ペットと一緒に避難できる場所を作って下さい。
- ・避難場所に確保（プライバシーが守れるような）が速やかにできるように体制作りを望みます。
- ・共に70代後半の夫婦だけの生活ですので、耐用年数の長い住宅は必要ではなく、震災後に建てられる「仮設住宅」や「簡易住宅（言葉だけでどんな建物かは全く解りませんが…）」が良いのではないかと考えています。が資料がなく判断の仕様がありません。現住している住宅の耐震補強だけではなく、こうした方向での対策は何かあるのでしょうか？

## 【避難場所】

- ・海沿いの防潮堤などのハード整備はもちろんですが、避難場所や避難所、避難の整備等を充実させてほしい。私の住む市町村では、津波がすぐ来ると言われている為、保育園や学校が高台に移転が決まっておりましたが、何年も経ってから「できない」となり、話がとんざしました。高台へは移転できなくなったので、津波浸水地域ではない所へ移転となりました。しかし、未だに進展はなく、目に見えた動きもない行政には不信感しかありません。やるなら早くやってほしい。これが正直な気持ちです。また私の地域では空き家も多く、倒壊の恐れも多いのでその辺も何とかしてほしいです。お年寄りも多いので、海と山の間に避難タワーももっと作っても良いかなとも思います。
- ・避難所の衛生環境が整っていればストレスは少ないと思う。車内泊する人へ水分の配給があればいいかなと思う。
- ・海に近い学校の避難場所が心配です。自分の子供は、工専に通っています。学校の屋上が避難場所になっていますが、津波がきたら学校校社じゃ、低すぎます。防災津波タワーも、低すぎです。波にのみこまれます。そうていを超えることを考えてない！
- ・町民全員が高台に移転が可能になること。
- ・避難所の確保と連絡手段の確保。犯罪の抑制。
- ・地震が起こった後の避難所や仮設住宅の迅速な設置。
- ・人が一番ですが、ペットを家族としている人たちも多数います。その人たちの以降のストレスは、たかが犬や猫が、じゃありません。一緒に避難できる区画の確保も考えておいてください。それから、小中学校時の防災教育はとても大事だし、頭に残ります。本物の消防士や防災士を各学校に派遣し、実際の映像を見させて、どうすれば命が助かりやすいとか、”その時どうする”を考えさせる教育をする。それは一般論ではなく、その地域にあった避難方法を提案する。その学校の立地を主体的において具体例をみんなに話すこと。
- ・南海トラフが発生したら、今まで経験したことのないことがたくさん起こると思います。全てを完璧にはできないと思いますが、特に避難所の安全面や衛生面の準備をお願いしたいです。しっかり管理できるトイレ、プライベートが確保された空間をどうかよろしくお願いします。
- ・女性や子供が1人で避難しても安全にトイレや睡眠が出来るよう、非常時でもプライバシーを守れる場所が欲しいです。今は避難所についてもネットでいろいろな情報が出回っていて、実際に南海トラフが起きたらどうなるのか、どこまで県に助けてもらえるのかが不明なため、明確に分かる情報の発信が普段からあれば、震災後のリアルな生活を想像しやすいかと思います。非常時こそ助け合い、疑心暗鬼にならず県民で協力することが必要かと思うので、老若男女の意見を平等に取り入れた避難所を作って頂きたいです。
- ・各地区に医療者がどの程度いるのか、被災時間などにもよりますが、自宅で被災した場合は地域の避難所などで活動できる人の把握はしても良いのかと思います。
- ・震災後、地域住民が避難所運営に関わる必要があるのであれば、どうやって進めて行けば良いのか知っておきたい。
- ・避難先での安心できる環境を作っていただきたいです。ペットと避難できる環境、女性1人でも安心して避難できる環境。

## 【避難経路】

- ・公園などに塀があるが、市や県は公共の危険な物に対し、対応しているのでしょうか？
- ・県西部、東部において、国道55、66号が寸断されると救助や、物資が止まることとなります。国道では、高速の延長が進められていますが、補助的う回路として県道、市道の見直しや、幅員拡張などを望みます。
- ・私は、南海学園で息子がお世話になっています。南海学園の入り口から信号までの道がとても、狭くて、いつもこの間が広まらないかと思っています。どうぞ、この南海地震が来るまでに、スムーズに出入りできるようにお願い致します。
- ・安全な避難経路の確保。避難先での生活復帰に向けての取り組み方。

## 【避難訓練】

- ・学校などで急な避難訓練があるように、地域全体を巻き込んで突発的な避難訓練をするべき。物資の供給がすばやくできるように、緊急時の輸送路など確実に備える。高齢者などが多い地域から、優先的に避難路の整備をする。
- ・地域の避難訓練をもっと増やして、いざという時に各住人の人々が（高齢者や逃げるのに時間がかかりそうな人）残らずなるだけ自力であきらめたりせずに避難できるようにしていきたい。して行って欲しいです。
- ・地区ごとの訓練。
- ・大変な事業ですが、一人でも多く県民の命が助かる様ご尽力下さりありがとうございます。地域の防災、訓練、特に夜間や学校での避難訓練をもっと増やして頂きたいです。
- ・訓練を義務化しないと、誰も参加しないと思います。
- ・小学校で防災訓練のレベルが凄く低く感じました。もう少し意味のある訓練を行われた方が身になると思います。想定力がない訓練は無駄な時間と思います。学校任せでなく、プロの方等の意見を取り入れた訓練をされた方が良いかと思います。
- ・子ども達に避難介助より自己避難を優先させる防災訓練。

## 【備蓄品】

- ・避難生活での食料、水、トイレ等の備えについては以前からよく聞きます。医療についても負傷者の救助も必要なことだと思います。しかし私も含め日常的に薬を服用している方もいるのですが病院（主治医）からは家に備蓄する為と頼んでも次の受診日までの量しかだしてくれません。食料や水であっても避難場所に届くまで3日はかかると言われてるので、医療薬も同じくらいかそれ以上かかると思うと不安になります。避難所に届けてくださる薬も飲み合わせなどありますし、鎮痛薬やかぜ薬などと違い1回でも欠かすことなく服用しないといけない人もいるかと思います。難しいかもしれませんが、県や市町村の方からも行政に対してその辺の決まりを今一度検討してもらえよう行動して頂きたいです。
- ・（水）1人何本×10日分→等、具体的な→本数を各家庭に配って欲しい。※（水）は老人に重労働。
- ・水、食料、屋根と壁（テントなど）がある避難所、ペット等の為の対策、強姦などを未然に防ぐための取り組み、取り残された高齢者や子どもはどうするか、避難後の対策にも目を向けてほしいです。
- ・土佐山田町で言えば避難所及び水、食料品が充分確保できるか不明なので、そこに対する手当。発生した場所できるだけ早い電気、水道の復旧。
- ・備蓄品（水など）を定期的に配ればいいのに。2～3年に1回とか。それを備えておくかどうかどうするかは各家庭の責任です。お年寄りがスーパーなどでケース買いできないですよ。山の上の住宅街もどうするんでしょう。（市内に結構あるけど）1つしか出入口がないのに孤立した場合とか考えてないのかな。
- ・使わなくなった公民館などに、食料を備えておく。
- ・各個人の家で物資の備蓄をする為のスペースはない所が多いと思いますので、行政の方でどこか準備して大々的に備蓄するべきだと思う。
- ・今は特に何も望んでいません。今、自分がすべき事、水分や食料の確保等に気を付ける事だと思っています。後は、その時にならないと分からない。
- ・家庭に必要な避難備品をリュックで配ってほしい。分かっているけどすぐ買えない。生活保護を受けていて余裕が無く、何も出来ない。出来ないのに、地震に関心を示すことはできないから…何を聞いても他人言になる。
- ・備蓄の充実と広報。
- ・長期保存ができる水などは事前に配布しても良いのでは。極端な事を言うと古い家に住んでいて、耐震工事もしない、引っ越しもしない高齢の方々や活動に後ろ向きの方々や切り捨てて、若い世代や前向きに取り組んでくれる方々が得をするような方向で進めていただきたいです。

## 【津波】

- ・久礼地区住宅密集地域の順先高台移転。災害復旧住宅用地の高台造成／用地確保。商店街（c f、大正町市場）の耐震化・津波避難施設・避難ルートの整備拡充。久礼市団地→避難場所（久礼小中学校）への通難路、ルートの拡充。笹塚小学校跡地の緊急時使用ルールの調達“見える化” c f、体育館
- ・津波や家屋の倒壊ばかり強調されているが、海（南）の危険は理解できるが、背面（山、北側）の危険度が軽視されているのではないか。特に鏡ダムについては正しい情報の提供と対策が不可欠。老朽化・危険住宅、高齢者のみの世帯等については、危険住宅の解体を義務付け、公営の集合住宅を整備し、入居促進を図ればウィンウィンにならないか。
- ・高知県は海沿いで、津波が最も怖いと思う。それに対しての対策を今後取り組んでもらいたい。1人でも多くの人達がなくなる事なく、みんなで協力して災害が起きても楽しくすごせるようにしていきたい。一人でも多くの命が守られますように。県での対策をお願いします。
- ・私達の避難場所は山なんです、高さ13mです。津波は30mと聞きます。どうしたら良いですか？
- ・津波を防ぐ防潮堤などハード整備の構築。
- ・居住地区に石油タンクやガスタンクがあります。南海トラフ地震が今起きた場合、漏れた油に火がついて津波と一緒に押し寄せてくることやガスタンクの爆発で家が吹き飛ぶのではないかと心配しています。大量危険物等の安全対策の徹底をお願いします。
- ・高知県は南海大地震が発生すると津波で大被害が出ると言われている為津波に対する擁壁の建設を行う。又、他県からの物資応援を早くどの県より呼べる体制メインはヘリによる応援となる為、ヘリポート建設拡大をする。県庁の移転建設を望みます。耐震補強を行ったとはいえ、場所的には津波浸水予測範囲内であるため、地震が発生したら機能しないと考える。
- ・土砂くずれが心配、津波は対策が難しいと思う。
- ・津波が来れば確実に浸水し、家はダメになるため、津波の対応・対策を早目にとれる・生活できる状況を検討してほしいです。
- ・山等の避難場所の道作り、コンテナ式の仮設住宅、津波を少しでも弱くする方法。
- ・津波対策だからといって、海岸沿いを高い防波堤のコンクリートで固めないで欲しい。防波堤に限らず、将来メンテナンスしていく負担を考えると他の方法にした方がいいと思います。
- ・津波や崖崩れ等に関する建築制限区域の強化。高台等への移転奨励。（補助金）
- ・防潮堤などのハード整備が出来ていない津波が来るのがわかっているならば、ハード面を充実すべきサイレントパイラー（技研製作所）の杭打を採用すべき
- ・自宅は海岸沿いの為津波は避けることはできないと思います。現在防波堤が低いのもっと高くしてほしい。
- ・南中・高校を津波を理由に閉校したのなら、わんぱくこうちの場所も移転してほしい。地震、津波等の被害が心配されるのに、動物はそのままですか？対処できずに殺処分、なんて太平洋戦争中のようなことはあってはならないはず。人も大事ですが、動物も同じだと思います。
- ・津波の浸水予測について、陸地だけでなく河川を遡上した津波による浸水予測シミュレーションを河川ごとに分析し、ハザードマップの精度を高めてもらいたい。
- ・港湾河川のムダな嵩上げはやめてその予算を復興費にあててはどうですか？本当に堤防の嵩上げで、すべての津波が防げると思ってやってるんですか？
- ・スーパーなどが集まる場所の近辺にも、津波避難タワー等の建設をして欲しい。近隣住民以外にも人が集まる事や、高齢者や足が不自由な人が居ることを考えた場合、その大勢の避難が間に合うとは思えない場所にタワー、避難場所が設定されている事も少なくない。
- ・地震や津波が起こってからはどうなるか分からないし、どうなったとしても何とかできる力が日本にはあると思う。そのため、私は現時点では県民1人1人の防災に関する意識を高めることが最優先だと考える。危険だと知らせるだけでなく、自分の身は自分で守る、という責任感を地域住民にもってもらうことが大事だろう。市区町村だけでなくもっと狭い地域ごとに、質問でもあったような消防団への関心を増加させる取り組みや、各家庭で家具の固定ができているかを確認すべきである。また、インターネットや郵送だと家庭内のみで終わる話になってしまう。それを、近所の人はこうゆう取り組みをしていた、うちもやってみよう、という流れに変えたい。話題になるという点で、やはり専門家や人員を派遣して市区町村よりも狭い地域で話をしたり、実際に家具を固定しに行くサービスを行ってみるのも良いかもしれない。話を聞くだけでは危機感をもつだけで行動にうつる人は少ないと思うので、話を聞きに来てくれた人の中から抽選で上記のようなサービスを行うことで、話題性にもなり行動にうつす人が増えると思われる。

## 【津波】

- ・私は、沿岸部に住んでいます。津波の被害をもろに受ける為、避難場所に避難する事になります。ヘリポートを設置して頂きありがたく思いますが、地震発生後何日でヘリコプターによる救助活動が行えるかによって、何もない山の上の避難場所に何日過ごす事になるかによって、防災計画が変わってきます。「3日程度」という、定型文ではなく、現実的な個別の防災計画の策定をお願いしたい。

## 【地域】

- ・南海地震の被害は広域に渡るため、高知県への公助はかなり遅れることが予想される。よって何よりも、自動（家屋の耐震、家具の転倒防止、食料、水の備蓄が生命を守る上で最も大事）その上で共助としての地域住民のつながり、助け合いが、次の段階では必須となる。そのためにも、日頃からの付き合い、相互扶助、町内会活動の活性化が求められる。
- ・地域のつながりや行事が希薄になっている現状では地域での防災に対する取り組みの必要性が低くとらえられがちだと思います。ただ、災害の時はまず地域の人達と支え合わないといけません。地域のつながりを強くすれば、自ずと防災の意識や災害時の助け合いはうまれると思う。防災の観点からも地域の夏祭りなどのとりくみの支援をすべき。
- ・地域の防災活動が全くなされていない。自治会などの防災活動を盛んにする必要がある。
- ・このアンケートの回答を始めて間もなく、日向灘を震源とする地震が発生し、他人事ではないと、改めて感じました。避難袋の見直しや、食料の備蓄等できることをしてきましたが、家自体壊れてしまったらという気持ちも否めませんし、どこにどう相談していけばとそんな不安を抱えたままです。地域への呼びかけ等些細なことでもお伝えしていただきたい。
- ・どの地域も、温度差がないように、対策して頂ける様にして頂きたい。
- ・普段からの地域のつながりが大事だと思います。
- ・地域の活動に参加することができないので町内会など、どのようなことをしたのかなど知りたい。
- ・小さいコミュニティ単位での訓練を繰り返し行う。山崩れ、石垣への補助をしてほしい。

## 【ライフライン】

- ・下水道の強化（新しくする）。
- ・ライフラインのうち特に水の仮供給までの時間を早急に行なえるよう立案し改善しておいてほしい。能登の地震を見れば解かる思うが、自治体と国の対応が遅すぎる最重要なのは道路通行ができる事。前67問の15で答えた重機トラックなどの運転者を含めた、がれき撤去要員の確保と迅速な手配のための事前の連絡体制作り。

## 【プライバシー問題】

- ・各地の地震後の困った事を踏まえて準備しておいてもらいたい。予備を構えておいてほしい。一時的な物から何日も大丈夫なように。（水、食料、トイレ、日用品等々）個人的なプライバシーや衛生面も気をつける事
- ・避難所に行ったものの、施錠されていては困るといのはいかがなものか。しかし、開きっぱなしでは困るので、良い対策があれば考えて欲しい。避難所だけでなく、普通使っている場所が利用できる方法を考えて欲しい。すでに被災して復旧（復興）している地域からの聞き取りなどでより現実的に添った対策を希望しています。
- ・避難した際にプライベート確保できるように、拡充してほしい。大地震が実際起きないとイメージできない人が多く、事前に準備できない人も多いので、県民へ意識を高くする工夫をしてほしい。
- ・想定被害規模ごとに復興プランの事前策定とその公開。プライバシーが確保できる避難生活ができるように、事前準備の徹底。震災後に各市町村でどのくらいの人が、どの程度の資産を失い、どのくらいの期間で震災前の水準で生活できるのか、あるいはどのくらいの割合で震災前の水準で生活できないのか、また、市町村ごとにどのくらいの人口が震災後減るのか。震災後の生活がどうなるかの詳細なシミュレーションの策定と公開。
- ・能登半島地震で多くの建物が崩れ、避難生活を強いられるニュースを見て感じた点は、避難所のプライバシーの確保（簡易テントなど）。長期間の避難になると特にプライバシーの確保は大事だと思います。清潔なトイレの確保、住めなくなった住宅への対応（住宅再建できない場合どうしたらいいか、行政がどこまで支援してくれるか不安があります）。まずは避難！ですが、その後の日常をなかなか取り戻せていない石川の方々を見て、防災対策の難しさを感じています。ライフラインの早期復旧、仮設住宅の早期設置をして、震災前の状態に少しでも早く戻る手助けを行政には希望します。

## 【行政】

- ・ 自助、公助、共助をバランスよく進展させるような取り組みが大事だと思いますが、それに向け尽力しているように感じます。
- ・ 岸田政権は全く助けてくれる事は無いと思うので高知県知事、高知市長の支援その他を望みます。
- ・ 県と市町村の緊密な連携をお願いします。
- ・ 職員ひとりひとりに明確な役割分担を認識してもらうような訓練。罹災後の避難生活に地域差が出ないようにお願いします。
- ・ 県や市町村の行政職員の品質の向上国民に何でも押し付けるのはやめて
- ・ 県・市何に対しても、本気で言っているようには聞こえない。また、やかましいこと言っているとは思えない。なんとかして下さい。
- ・ 望むと言うよりもよくやっていると聞いています。

## 【アンケート】

- ・ 8/8は地震があったが、放送は四万十市の方が早く、宿毛市の取り組みの無さを感じました。以前、震度6弱の地震があった際もブルーシートなど配っていましたが、自宅が倒壊して中々役所までも取りに来れないのに、わざわざ役所まで取りに行かすのはどうかと思いました。高齢者、介護で中々外に出れない方(災害弱者)、地震が起こった際に毎回このようなアンケートや具体的な対策を話と合っているのではと思いますが、一体何が改善されたのか全く分かりません。全てが中途半端なかんじですよね。市民のためにも改善をよろしくをお願いします。そして、改善策を示して下さい。仕事上、市民の生の声を聞く機会があるので…市役所の方々が思っている以上に不安に思う方は多くいますよ！
- ・ 2024年8月8日(木)南海トラフ巨大地震注意が発表されました。このアンケートが無事届けば良いと思います。このアンケートのおかげで、直近で知りたい情報が分かりました。いざ本当にこうなると、自分の用意のなさが悔やまれます。今、現在(21:00)高知県のHPには発表の記事のみ、高知市のHPには何もありません。今後、自分達がどう行動すべきか、また、不安をとり除くための情報を市と県に早急に発表して欲しいと思います。ありがとうございました。
- ・ このアンケートを書いている時に宮崎で地震があり、その後臨時情報が出てドキドキしました。おかげで再確認ができました。行政にはすべてを望む事は無理があります。この事としてあるていどは自分で用意しなければと思っています。いい意味でシミュレーションになればいいですね。
- ・ このアンケートを記入した改めて感じた事は、お金がないと命も守れないという事です。当然、行政が私たちのような貧しい世帯の防災にかかる費用を全てまかなう事は、出来ないし、地震を止める事も出来ません。耐震工事などやりたくても出来ない世帯は他にもあると思うので、それを前提とした対策を望みます。お金の問題で対策出来ず、命をおとすのは自分の責任ですが、そのせいで人に迷惑を(緊急車両が通れない等)かけたくないです。コロナ以降なるべく他人と交流しない考えになってきましたがこれを記入した人で少し考えがかわりました。このアンケートもひとつの対策になってると思いました。アンケートに答える中で勉強にもなりました。
- ・ 個人的にはこうしたアンケートを含め、県・市町村が努力してくださっていることに感謝しています。事前にできることをして備えておくことは大切だと思います。そうしておくなら、起きた時に落ち着いて行動することができるのでよいと思います。時々警戒心がゆるむので、みなさんのおかげで思いおこすことができている。ありがとうございます。
- ・ 南海トラフの事など気になっていましたが、避難する場所や家の耐震など、頭の中で行動力がともなわず、今回のこのアンケートで少し踏み出していかなくてはと家で(夫と)話をしました。でも断捨離などまだまだ。この企画、ありがとうございました。
- ・ 今までに何回かアンケートありましたが、何回したら県は体制を提示できますか？アンケートはもっとシンプルに。
- ・ トイレ問題。このアンケートのように色々を考えてくださっていることを心強く思います。自助力が弱い、1家庭単位ではできないこと、同団地内でもほとんどつながりが無いことが不安です。このアンケートで、自分の家庭の準備がまだまだ不足していることに気づかされました。参考になりました。ありがとうございます。
- ・ アンケートが長くて途中で入力をやめそうになりました。途中でやめられた方も多いかもかもしれません。防災に関わる大切な事なのでアンケートは欠かせないものだと思いますが、もう少し調査方法を考えられても良いかと思えます。

## 【アンケート】

- ・本当に災害が起こる事を前提で考えて欲しい。例えば、自分の住んでいる自治体は台風等の事前にある程度予測できる場合でも、過去の取り組みで空振り(台風が大したことなかった)等で真剣に取り組まない。人命第一で考える公務員がどれほどいるのか?こんなアンケートもやってます感を出すためのように感じる。
- ・アンケートを取るのには良いが、量が多すぎる。もっと簡潔に要点をしぼるべき。地震災害時対策マニュアルのような小冊子を各家庭に配ると良い。

## 【耐震強化】

- ・住宅の耐震化の推進が最も重要だと思っています。本当は耐震診断や耐震化の強制力を行政が持つべきだと思っていますが、現実的ではないので、支援策を充実させていくことしかないように思います。
- ・築53年の木造で、あちこちがポロポロで、不安の中で生活しているが、お金もなく助成金で何とか!と思っているがどのようにすれば良いかわかりやすくしてほしい※(追)8/8地震後、意識変化し飲食料も準備します。

## 【南海トラフ地震臨時情報】

- ・先日、宮崎で起きた地震で初めて南海トラフ地震臨時情報がテレビ等で発信されてましたが、実際何をどうすれば良いのか良くわからない。
- ・今回この書類が届いた時にちょうど南海トラフの臨時情報がありましたが、高知が一番危ない、ましてや須崎はもっと危ないのに、行政の動きがとても遅く不安になりました。避難すべきかどうか、須崎の判断はとても遅かったと思います。不安な一週間を過ごしました。簡易のトイレ、ありがたいですが、5人家族に一回分いただいても足りるわけありません…(お店で手に入らなかったのがありがたいですが…)もうすこし考えてほしいです…
- ・南海トラフに対してのお金の補助、支援等を積極的に進めないと県民は地震への対策をしないと思う。若者はテレビを見ないし、かといってSNSでは自分の興味のある話題にしか関心を示さない。この間の地震で初めて「南海トラフ地震臨時情報」というワードも聞いたし、この冊子で初めて聞くワードもたくさんあった。この意識調査を3,000人対象ではなく全県民にむけて知ってもらうことが大切だと思う。学校や職場等、地震への対策を知ってもらう為に講義をしたり、冊子を配る等した方が良いと思う。知らないじゃなく、皆知ってるぐらいの地震への知識を高めないと今のままだと確実にダメな方向に進むと思う。
- ・8月に巨大地震発生注意の臨時情報が一週間出され緊張しました。持ち出し袋、水、食料の見直しや、地震への備えをもう一度考え直す機会になりました。観光地や経済の面からは減収になり、残念でしたしょうが本当に地震が来ていたら注意が出ていてよかったということになったと思います。注意が出てよかったです。
- ・先日、南海トラフの臨時情報が出され、地震に対する備えの大切さを実感した。日頃の備えが不十分だった事に気づき、現在は少しずつ備蓄品を増やしている。簡易トイレを購入しようとしているが、どの商品を選んで良いか判断しにくい。県から防災セットを販売してもらえると安心して購入できると思う。季節ごとに防災用品や心構えが変わってくるので、時期に合った啓発活動があれば気づきになる。
- ・8日に宮崎で起きた地震により、南海トラフの臨時情報が出された。家具の転倒防止など、本格的に取り組む必要性を感じている。また、同居していない家族との連絡方法なども考える必要がある。今はラインやSNSがあるが、果たして回線が上手くいくのかは心配。いつ、どこにいて被災するのかで状況が変わるのことも心配。

Ⅷ 自由回答  
〔その他〕



問1 あなたご自身のことをお伺いします。あてはまる番号に○をつけてください。(回答者 75人)

③ 職業

- ・医療従事者 (9)
- ・介護職 (8)
- ・自営業 (5)
- ・建設業 (4)
- ・看護師 (3)
- ・年金受給者 (3)
- ・無職 (3)
- ・臨時職員 (3)
- ・運転手 (2)
- ・契約社員 (2)
- ・就労支援 B 型 (2)
- ・独居 (2)
- ・福祉系 (2)
- ・保育士 (2)
- ・土木系 (2)
- ・団体職員
- ・ガイド週3回
- ・サービス
- ・飲食業
- ・家のお手伝い
- ・会計年度任用職員
- ・議員
- ・個人事業主、不動産貸付業
- ・再雇用契約
- ・作業所
- ・作業療法士
- ・事務職
- ・障害年金
- ・情報通信業
- ・水仕 (パート)
- ・生保
- ・製造業
- ・倉庫、ティバック詰め、PCあり
- ・アパート業
- ・美容室
- ・両親の介護

問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(回答者 57人)

- ・液状化 (17)
- ・地盤沈下 (6)
- ・ブロック塀 (4)
- ・川の氾濫 (3)
- ・孤立 (2)
- ・水害
- ・生活ライン
- ・津波の到達時間
- ・ため池が決壊した際に水が来る
- ・浸水 (7)
- ・道路寸断 (5)
- ・建物倒壊 (3)
- ・橋の崩壊 (2)
- ・停電、断水 (2)
- ・建物崩壊
- ・地割れ
- ・電柱・電線の破損
- ・分からない
- ・火事場泥棒・週辺国の信仰・避難所の小学校までが遠い。
- ・階段がつぶれないか心配。コンクリが割れて落ちていることがあった。
- ・救助が来ない期間が長く、自助できるかどうか
- ・古い家だったので、今年新築の予定
- ・渋滞、人々の混乱、SNS のデマあげればきりが無い
- ・道狭いので通れなくなるとか
- ・離れの家屋の床下の基礎を悪徳業者に壊された。

問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(回答者 76人)

- ・玄関、ドア、窓を開ける(16)
- ・火を消す(6)
- ・様子を見る(3)
- ・状況判断(3)
- ・家具などから離れる(2)
- ・お客様に知らせる
- ・ヘルメット、靴の用意
- ・安全を見て人助けする
- ・緊急地震速報の内容を確認する
- ・子供たちを守る。布団で頭部を守る
- ・施設ハウスに入る
- ・心構えをする。落ち着く。
- ・避難所に逃げる
- ・非常用品の袋をそばに置く
- ・何十秒後の時間に余裕があればですが →玄関を開けておく、靴、ヘルメット装着、火の使用  
中なら消す。
- ・家具等のそばには寄らない(今の所対処している)
- ・(長い強い揺れ) 2~3分以上ぐらいなら、津波からにげる行動をとる。揺れが止まったら、  
すぐに、高所へにげる
- ・周りに地震が来る事と身を守る行動をとること、可能なら火の始末をすることを促す
- ・職場なら、保育の子の身、家なら我が子の身を確認しに行きます。
- ・何もできない(8)
- ・高いところへ行く(6)
- ・わからない(3)
- ・安全な場所へ移動する(2)
- ・情報を待つ・調べる(2)
- ・その時に応じて対応を考える 逃げ道を確認する
- ・安全な場所がありません
- ・家具などを支える
- ・犬を抱く
- ・状況の把握
- ・身がまえる
- ・水の確保
- ・津波があるかないかを調べる
- ・隣のビル(病院)に避難する

問5 普段、情報をよく収集するメディアはなんですか。(回答者 18人)

- ・スマートフォン・携帯電話(7)
- ・iPhone緊急アラート
- ・基礎疾患等のためどうにもできない
- ・職場での口コミ
- ・余りない
- ・防災アプリ(2)
- ・家族
- ・市町村の広報誌
- ・地区の自主防災訓練など

問6 高知県では、様々な手段で南海トラフ地震対策の啓発を行っています。  
 これまで、ご覧になったり、お聞きになったりして印象に残っているものはどれですか。  
 (回答者 21人)

- ・学校の授業(2)
- ・町内会・地域等のイベント(2)
- ・インターネット
- ・講演会
- ・高知県防災アプリ
- ・全く残っていない
- ・防災アプリ
- ・防災人づくり塾
- ・仕事でサイレントパイラーの製造にかかわっている
- ・さまざまな手段など詳しく知らない。細かい情報入ってこない。
- ・職場での研修等(2)
- ・あまり目にしていない
- ・ローリングストックチラシ、防災アプリチラシ
- ・高知県が発信したものは見たことがない
- ・子どもの学校での授業、防災イベント
- ・分からない
- ・防災士の普及活動
- ・自治体広報誌・啓発冊子

問8 南海トラフ地震対策の広報活動を充実させるために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。(回答者 49人)

- ・自治会の広報活動
- ・無策よりましなもの
- ・地域の避難訓練など進める
- ・本当のことを言うべき
- ・学校での取り組みの重要性
- ・それぞれの市での政策・取り組み
- ・その場所での政策、取り組みのわかりやすい紹介を優先順位を明確に提示する
- ・避難場所への経路確認も兼ねた、実際のシュミレーション
- ・市町村単位の方がもっと身近に感じられると思う
- ・全ての危険情報をかくさず提供すること
- ・三重防護の進展具合を知りたい。併せて河川堤防の強化の状況も。避難生活時の対策、医療面の支援可能度合。
- ・各企業、自治体と協力して避難訓練をするべき
- ・高齢者や3失障害者(身体・知的・精神)、要支援の高い方への呼びかけや、避難方法
- ・田舎より街のことばかり行政は考えてない
- ・何をしても地震(南海トラフ)には勝てないと思う
- ・8/8(木)宮崎県の地震で高知県が県民にこれからの取組をわかりやすく知らせてほしい
- ・保育園や小学校などに県や市取り組みや地域の情報がみれるようにしてほしい
- ・具体的に地域ごとに予想される地震・津波が発生した際の被害の可視化をする。家のモックアップや造り家を破壊する等
- ・過去の地震の被害状況を知り、住んでいる地域の安全性や危険な所を認知してもらう
- ・避難訓練の義務化
- ・町内会単位での取り組み
- ・説明がわかりにくい
- ・避難場所を具体的に教えてほしい
- ・詳しい情報があまり家に届かない
- ・インフルエンサーの起用

- ・耐震対策の業者に基礎部分を壊されたので、悪徳業者等に注意する方法を啓発してほしい。
- ・年代に沿ったカリスマ性のあるリーダーを立て、今までよりも興味を引く様にする。
- ・仕事もそうですが、頭で理解していても体験、経験で理解が深まります。なので、体験するイベントの広報を充実させて欲しい。
- ・十分に啓発されていると思う
- ・教育現場ですで取り組んでいて企業及び会社で働いていない人達への啓蒙
- ・個人がいかに関南海トラフ地震を対策するか情報
- ・それぞれの地域の取り組みを紹介する
- ・忖度のない専門家の話を聞きたい。(大学教授は、これにあてはまらない傾向が強い)
- ・過去の地震で事前対策しなかった家庭がどのように困ったか、実体験を詳しく紹介。
- ・この地区(自宅がある地区)は3.5mの津波が来た時は自宅が何mつかののかを自覚してもらおう。地区によってつかの高さが違うと思うので。自分の家は大丈夫だと思っている人が多い。今もなお、危険地域に新築の家を建てる人がいる。
- ・県の取り組みよりも市町村での取り組みの方が住民に伝わりやすい
- ・TVや新聞での広報(今送映されているようなCMなど)
- ・実際に起きた災害をTVやSNSで発信する
- ・県の政策が市町村の政策とリンクしていない
- ・小さい地域から広報活動を充実させる、具体例で身近に紹介できる
- ・その時、在宅しているとは限らないので、様々な場面での退避方法を示してほしい。買物中とか車中にいる時とか。
- ・実際に各地域で防災訓練(炊き出しやケガ人の対応、避難場所で1晩過ごしてみる)をするように働きかける(私の住む場所は23年前から住んでいますが、町内会等がなく、同じ団地の人の名前もほとんど知りません。近所同士が関われる環境が安心)
- ・地震の仕組みなどではなく、地震と津波が起こることを想定し、【その時どうする】【日頃からの備え】など様々な情報を伝え続ける。特に災害時はどこにいるかによって被災内容も変わってくるので、時と場所による備えは大切。そこを広報していく。
- ・メーリングリスト、「自分が住んでいる地域に特化した情報」や「おでかけの際のチェックポイント」を、身近な内容など角度を変えて紹介する。インスタグラムで身近な防災に役立つ情報に特化したアカウントを作り、情報を届ける。
- ・津波の際 高い建物が少ないので橋やトンネルを通ることを考えているのですが、壊れている可能性があると思うので、その際の情報を
- ・市街地や危険地域、従業員数の多い企業と広報活動で協力する
- ・SNSの広告を利用して、若い人の目に留まるようにする
- ・災害発生時、実生活がどのように変化し、何を備える必要があるか知らせてほしい。また、地区を離れて行動することもあるので、地域で取り組まれていること(例えば葛島の排水ポンプ場建設とか、浦戸湾などの護岸工事で何がかわるのかなど)、誰もがいつでもアクセスできるデータとして、県の取り組みを知ることができるデータベースとして提供してほしい。自分の生活と照らし合わせないと、実感がないので、どうしたらいいか考えられない。
- ・場所、方法など具体的に地域ごとに示す

問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。 (回答者 16人)

- ・なんとなく (2)
- ・テレビ
- ・家族
- ・研修
- ・人から聞いた
- ・祖父より言われている
- ・道路標識等
- ・インターネット
- ・よく分からない
- ・過去数回浸水
- ・自分で考えた
- ・川が近いから
- ・町中のくい、鉄柱のたぐい。
- ・忘れた

問12 問11で「2. 津波警報が出たら」～「6. 自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから」、「8. 避難しない」と回答した人におたずねします。

すぐに避難しない理由はなんですか。 (回答者 12人)

- ・ペットがいるため
- ・自宅が避難場所のため
- ・どのすればわかるのかなど知りたい
- ・パニックをおこしそうで避難できない。他人に迷惑をかけるので家にいる方が安全。
- ・メディアの生き残り命令を判断する。
- ・一人暮らしなのでいつ死んでもいい。みよりもないし
- ・自宅が高台にあり付近に川もなく、津波が到来する危険がないため。
- ・職場へ参集など、仕事方の動きもあるため

問14 問13で「1. 確認している」と回答した人におたずねします。

あなたはどこに避難しますか。 (回答者 27人)

- ・自宅 (3)
- ・タワー (2)
- ・自宅が3階なので (2)
- ・タマイホテル
- ・とり合えず2階に上る
- ・パニックをおこしたら避難できない
- ・家に居ない場合、高台へ
- ・近くの山
- ・犬がいっしょにいれる所
- ・高速道路上
- ・その時の場所によると思う
- ・自宅近くの義父母の家 (津波が来ない場所)
- ・自宅近くの広場
- ・車で高台へ
- ・職場
- ・同建物の上の階
- ・日章福祉交流センター
- ・迷っている
- ・友人の家
- ・自宅が高台にあるため避難しない
- ・走行中であれば高速 (高知 IC) のように高さや広さが有る場所に行きたい
- ・時間的な余裕があれば避難所で、なければ高台等
- ・自主防災会で整備した避難場所 (山林、高さ不足)

問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(回答者 128人)

- ・橋の倒壊が不安(8)
- ・避難場所が川や海に近い(7)
- ・高齢者を連れていけるか不安(5)
- ・わからない(3)
- ・避難場所の高さに不安が(3)
- ・歩行困難のため時間がかかる(3)
- ・坂道なのできつい(2)
- ・足の不自由な家族がいる(2)
- ・避難場所に入れるか不安(2)
- ・その時の状況による
- ・ペットがいるので
- ・マンションなので入れるのか不安
- ・海の方へ向うことになる為
- ・外出時、安全な所に車で移動する。
- ・近くの避難場所には行きたくない
- ・高齢のため、移動に不安
- ・佐川町は津波はこない
- ・山が近いので車で山の方へにげる。
- ・自宅が高台なので避難しない
- ・足が悪くゆっくりしか歩けない
- ・避難経路が海岸線沿い
- ・避難場所が安全な場所か不安
- ・いつもの草が生い茂っていて通れるか不安
- ・ブレーカーを切ったり おちついて行動できるか…
- ・橋がある校区外へ通学の為知らないので行きにくい
- ・近くに避難タワーは、あるか、高さに充分なのか?
- ・家や道が崩れて行けるか不安。子供も小さく行っても帰ってこないといけないかもしれない。
- ・自宅ではないところで、避難の呼びかけがあった場合、速やかに適切な判断、行動がとれるか不安。
- ・自閉症なので他人に迷惑をかけることが一番不安。
- ・行政の決めた避難場所に関して、高さに不安を感じる。
- ・高知市内に学校に通ってる7才を迎えに行けないだろうことが悩み。
- ・自宅5Fで家族と居る・子どもがいるので、その子のストレスや、周りへの迷惑声や音など。
- ・耳があまり聞こえず、足も感くて杖やシルバーカーがないと長く歩けない。
- ・住宅密集地に家があるので、火災が起きたら危ない。さらに、火が回ってからでは移動できなくなるかもしれないので不安だ。在宅避難希望だが一旦早めに家を出る方がいいのか悩んでいる。
- ・親と同居なのでいっしょに避難出来るか心配
- ・避難場所がわからない(7)
- ・液状化(6)
- ・避難場所までの道が混雑するかもしれない(4)
- ・避難経路が川の側にある(3)
- ・避難場所の耐震性が不安(3)
- ・高齢のため、歩けるか不安(2)
- ・持病等があり、避難場所で過ごすのが不安(2)
- ・避難した後が不安(2)
- ・小さい子供を連れて避難できるか不安(2)
- ・その時の道路状況による
- ・マムシがいる。
- ・家族が集合できるか
- ・一人暮らしの老人や歩行困難な方の同行避難
- ・居住地以外に居る時は情報が不明になる
- ・空き家が多い
- ・国道を渡る必要がある
- ・坂が急であり、時間がかかる
- ・川が下に流れている
- ・自宅にいるのが一番安全
- ・避難しない。
- ・避難場所が現在ない。
- ・墓石が沢山有る。

- ・知っている人がいない場所に1人で避難するのは不安がある。少し遠くても家族の避難している場所へ行きたい。
- ・地区の避難場所自体に不安がある
- ・津波が来た場合、横に逃げてから山へかけ上がらないといけない。←逃げている時に津波にさらわれる可能性がある。
- ・津波浸水地域ではないが頂度、その地域へ出かけて行っている時に津波が来た時心配
- ・津波到達前に徒歩で避難できるか不安
- ・田舎は、山に逃げることになってるけど、夜の避難はイノシシなどがいるため、避難できない
- ・徒歩5分～7分のところに高層のマンションが2棟あるが、エントランスの扉がオートロックのため、実際に津波が来たときオートロックが解錠されるのか??が疑問。
- ・倒壊があっても、通れなくなることはない場所である。
- ・道路に亀裂、陥没、隆起があるのではないか
- ・道路沿いなので、車道がパニックになった時どうなるか？
- ・避難するつもりはない。家が耐震、高台。
- ・避難場所がそこで合っているか確信が無い
- ・避難場所が津波のくる方向にあるため津波に向かって行くようで不安
- ・避難場所での食料等の備蓄があるか不安
- ・避難場所に行くまで体力に自信がない
- ・避難場所に着くまでにコンクリートの階段や擁壁の肩を利用して造った通路などが壊れると避難場所に行けない。またその確認が可能かどうか
- ・避難場所に備蓄がない
- ・避難場所は高台ですが、高台が孤立するので不安です（島のようになる）
- ・避難中に「助けて」等聞こえてきたら放置出来なくて助けようとして逃げ遅れる
- ・不安はないが、隣の家ブロック塀が倒壊するかが気になる。
- ・夜中の場合は学校なので閉鎖している可能性がある
- ・薊野大橋の下だけで、橋に登れる階段があると良い

問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。 3日以上食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。（回答者 58人）

【飲料水】

- ・津波が来るので（7）
- ・重たい（5）
- ・ウォーターサーバーや水道水を使用しているので購入していない（2）
- ・避難所に備蓄（2）
- ・グループホームにいるため
- ・どうせ出勤しないといけないから
- ・ミネラルウォーター確保・リュックに入りきらない。他の大事なものも入れているから
- ・ローリングストックをしている
- ・引っ越したばかりだから
- ・準備する予定（6）
- ・期限が気になる（3）
- ・実感が無い（2）
- ・揺れると家には入れないから
- ・のんきにしてみました
- ・井戸・湧き水がある
- ・何となく

- ・家にいる可能性が低い
- ・間違えました
- ・今の量では少なすぎたかも
- ・真剣に考えてなかった
- ・売ってない、売り切れ
- ・津波がくるので早く避難したい
- ・長期保存水のことは知らなかった
- ・障害者を連れ出さないといけないので重い物はもてない。
- ・地震等に備えて用意しても家族が不要と判断して処分してしまう。
- ・避難場所に置くものと考える手ぶらで避難したい。
- ・病気療養中でなかなか買い物に出られない。同居の母も高齢で、買い物に出られない。
- ・湧き水がある
- ・家がつぶれて、置場所に行けない状態になると思う
- ・考えがまとまらない
- ・山水がある（きれいな水）
- ・水は何とでもなる
- ・避難所に近く、家の前が小川
- ・必要だと感じている
- ・大量の備蓄の管理まで手が回らない

## 【食料】

(回答者 63人)

- ・津波が来るので (7)
- ・実感がない (2)
- ・これから購入予定 (2)
- ・重い (2)
- ・2日分あれば3~4日分にできる
- ・しなければと思いながらまだ動けてないです
- ・ストックローリングをしようと思っているができてない
- ・どうせ出勤しないといけないから
- ・なかなか備蓄の用意が出来ない (分かってはいるが)
- ・のんきにしてみました
- ・リュックに入りきらない
- ・引っ越したばかりだから
- ・何となく
- ・家にいる可能性が低い
- ・考えがまとまらない
- ・思っているながら、買ってない。
- ・消費している
- ・生活の為の備蓄
- ・追加で買おうと思っている
- ・避難所に備蓄
- ・地震等に備えて用意しても家族が不要と判断して処分してしまう
- ・家に帰れるかわからない避難する時、たくさん持って行けない
- ・家がつぶれて、置場所に行けない状態になると思う
- ・缶詰等の腐らぬ物は近くで売ってない (車がない) ので…
- ・自宅で災害があるかわからないし自宅であっても持ち出すことがむづかしい
- ・避難場所に置く物と考える、手ぶらで避難したい
- ・賞味期限が気になる (5)
- ・賞味期限が切れて補充していない (4)
- ・準備中 (2)
- ・じゃがいも、米、野菜がある (畑)
- ・グループホームにいるため
- ・ゆるると家には入れないから
- ・ローリングストックをしている
- ・衛生上、心配
- ・何を準備して良いかわからない
- ・実際には3日以上ある
- ・今の量では少なすぎたかも
- ・持って逃る事は不可能
- ・真剣に考えてなかった
- ・他に食量は有ると思う
- ・費用がない
- ・避難所にあり、農家で備蓄米や野菜がある

- ・病気療養中でなかなか買い物に出られない。又、同居の母も高齢であり買い物に出られない
- ・冷蔵庫内には食料はあるが、災害時に常温で食べられるもののストックは少ない。

問23 南海トラフ地震発生時には、下水道が被災するため、トイレが使えなくなることが想定されます。あなたは南海トラフ地震で自宅のトイレが使えなくなったら、どのように対応しますか。

(回答者 30人)

- ・自宅の庭・畑を活用 (8)
- ・汲み取り式トイレ (5)
- ・浄化槽を設置している (3)
- ・オフ口に水をためている。
- ・オムツ使用
- ・自家へかえる
- ・トイレ用の水を備蓄している
- ・ポータブルトイレ
- ・緊急避難トイレをもらった
- ・山の中に住んでいるのでなんとかなる
- ・川
- ・高台にすぐにげるので家には備蓄していない
- ・近くの自分の土地 (山) に、キャンプ式に利用する。
- ・ペット用のトイレシートとゴミ袋を用意しようと思う
- ・住居のトイレに外トイレと離れのトイレがある
- ・津波から逃げる時に簡易トイレを持って行政の定めた高台・山へは逃げきれない
- ・別で確保できる

問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(回答者 57人)

- ・何もしていない(25)
- ・家具等の固定 (3)
- ・ヘルメットの準備 (2)
- ・テレビの固定 (2)
- ・準備中 (2)
- ・非常用バッテリー等の準備 (3)
- ・携帯電話持参
- ・避難経路の確認
- ・ガラス面のない食器棚を使用
- ・ガソリンをこまめに満タンにしている
- ・寝室に物を置いてない
- ・柱を1本つけた。自分で。
- ・非常持ち出し品を用意している
- ・鉄筋造りの家に備蓄品を置いている
- ・防災アプリの使用、家具の固定
- ・冷蔵庫が倒れないようにしているのみ
- ・ソーラーパネルとポータブル電源の用意
- ・ペットボトル (4 l × 6本、2 l × 10本) に水を溜めている (3~10日ごと定期的に入替)
- ・引越しをしないといけない為、今現在出来ていない。ペットがいるので心配です。
- ・固定できる家具は固定した
- ・子どもには、それぞれ通学中等どうすべきか、親がどういう状況におちいる可能性があるか伝えていきます。
- ・持出品を一覧表にして、見える所に貼っている
- ・小型の太陽光ソーラーパネルを置いています
- ・食器棚やタンス、仏壇など転倒防止をしている
- ・発電機など備えている。ガソリン等も備えている。

問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。(回答者 83人)

- ・これから固定する予定 (18)
- ・一部は固定している (7)
- ・背の高いものはない (2)
- ・家族に反対される (2)
- ・グッズが売り切れていることが多い
- ・テレビだけしか無い
- ・何となく
- ・家屋自体の老朽化があるため
- ・起きている時は安全な場所に移動可
- ・高令の為、自分では出来ない
- ・最善の方法を検討中
- ・居室内の配置変えなどをするから
- ・寝室でも大丈夫な所で寝てる
- ・適切な固定方法がわからない
- ・居住スペースにはできるだけ固定が必要な物は置かないようにしている
- ・見た目が悪くなるのでしていなかったが近日中に対策をする
- ・固定している物もあるが冷蔵庫等はしていない
- ・固定する道具は買ったが、まだとりつけてない
- ・テレビは1台のみしているが、外はしてない
- ・家具固定グッズはわりと高く、また売り切れで買えない
- ・リビングやキッチンにある家電が倒れても下敷きにならない間取りになっている。食器棚は耐震ロック機能がついているシステムキッチンである。
- ・押し入れの扉がすぐはずれるので意味がないから
- ・固定具を購入したが形状が合わないため買い直す必要があるが、まだ購入できていない。置き型の電子レンジの足にゴムをつけているが、大きな揺れには耐えられないと思う。
- ・固定場所の部屋の片づけをしてない
- ・主だった家具はできているが、普段利用していない部屋なのでできていない家具もある。でも、そこしか逃げ道がない場合になったら大変なのでやりたい気持ちがある。あと、人の背以下の比較的低い家具家電が固定できていない
- ・食器棚は備え付けでクローゼットの為
- ・寝室以外は固定するような家具ではない
- ・適切な固定方法、用具がわからない高齢者ばかりで設置できない
- ・倒れても大きな被害がないような高さの家具を購入するようにしている
- ・必要性を認識。至急実施したい
- ・部屋が広いので必要ないと思っている。
- ・しようと思っていて、まだできていない (9)
- ・後回しにしている (4)
- ・どこまでしたらいいかわからない (2)
- ・特に考えていなかった (2)
- ・テーブル等は固定すると普段使うのに都合が悪い
- ・テレビ以外はクローゼットの中
- ・固定できる住居ではない
- ・家具を設置している所は別部屋
- ・家電が転倒してもケガのないような所にある
- ・実家住まいなので
- ・自分一人ではできない
- ・近々、家の改装をする予定なので
- ・独居なので1人で出来ない
- ・物が少ないため

問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(回答者 31人)

- ・わからない(2)
- ・販売店頭、店頭でのPR(2)
- ・ニュースやCMで流してほしい(2)
- ・しなかった場合の実体験を詳しい紹介
- ・冷蔵庫を替えたのではずした
- ・固定する為のお金の給付
- ・個人の自由
- ・各市町村のインターネット情報を探しにくい
- ・現状の促進でよい
- ・もっと家の構造を知った上で対処してほしい
- ・補助金の申請方法が分からない
- ・賃貸でも利用しやすい制度設計
- ・イベントの際、参加者のニーズに合わせて配布する。
- ・固定してくれる専門家の連絡先等の一覧表を作ってもらいたい
- ・耐震対策のような悪徳業者にかかるのが怖いし、金も約4,300万円失ってしまい、無い
- ・高齢者や障害者にも分かるような周知方法
- ・賃貸物件等でも固定できるようにすべき。(退去時の現状回復等があるため、傷をつけることができない)
- ・「2. 詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」、「3. 固定してくれる専門家の派遣」、詐欺の恐れがある。
- ・借家であるため建物を傷つけない方法を教えてほしい
- ・固定する位置に強度が有るか分からない
- ・「5. 個人宅なので行政は何もすべきでない」に近いが、これだけ南海トラフ周知されてて何もしていないのは個人責任
- ・家具の購入時に固定を義務化とかまたは引っ越し時
- ・防災フェスタなどで紹介されるグッズは高い。物価高で日常の生活に余裕がなく、後回しにしている。補助は高齢者世帯しかない。チープな防災グッズ【百均など】を利用した家具固定を是非紹介して欲しい。
- ・SNSなどで、イレギュラーな固定方法事例を伝える
- ・心配や不安はきりが無い。「かもしれない」に備えるのは各住民に任せ、行政には有事の際にしっかりと手を貸して下さることを望みます。
- ・県や自治体の防災担当は手一杯なので外部に委託して補助制度の窓口や周知をしてもらう
- ・子供部屋にピアノを設置しているが、適切な固定方法や固定金具が分からず、困っているので、可能であれば専門的な助言を受けたい
- ・家具・家電の固定方法や費用を記載したパンフレットやポスターを家具店や家電量販店に設置し、購入者にその必要性を呼びかける

問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(回答者 11人)

- ・マンション・アパート (3)
- ・セメント塀だが古い
- ・フェンスに変える予定で見積もりも終わり、工事を待つだけになっている
- ・電信柱
- ・倒壊するかどうか
- ・門柱だけある
- ・隣の家にある
- ・新築時に「3. 安全なフェンスや生け垣に変えた」の対策済み
- ・敷地の下が田んぼで高低差があり、その部分が練り石積みだが、最近施工したので安全性は高い。道路側は30センチの低い擁壁だけであえて、敷地にフェンスは施さなかった

問32 問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。

安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(回答者 37人)

- ・高さが低いから (5)
- ・隣人との共有のため (5)
- ・ブロック塀に鉄筋が入っている (2)
- ・道路から離れている (2)
- ・グループホームにいるため
- ・そこまで考えていなかった
- ・フェンスの塀
- ・ブロック塀が壊れても民家が離れている
- ・ブロック塀に気が付かなかった
- ・もっと重要なことの点検、対策ができてない
- ・古くて、家の前は公道でない
- ・近隣や道路等に被害を及ぼす状況ではない
- ・工事の課程を見ているから
- ・出来て新しく、高さも低いため
- ・人に危険を与える場所ではない
- ・人の通行実態はほとんどない
- ・他人の土地には被害はない
- ・点検が必要であると知らなかった
- ・他人の土地であるブロック塀の方が高い。

問35 問34で「1. 知っている」、「3. 既に利用した (利用中を含む)」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。(回答者 11人)

- ・学校の授業でも教えてもらった
- ・携帯電話
- ・市の公報で
- ・市役所ホームページ
- ・設計事務所勤務
- ・夫から聞いて
- ・今回のアンケート調査の封筒に入ってた
- ・仕事が建設業なので解体の費用等は知っていました。
- ・消防団で活動しているので周知している
- ・聞いたことがあるそれだけ。詳細不明。

問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(回答者 33人)

- ・ CM
- ・ 借家なので以下わかりません
- ・ 補助が出て防止工事費用が無い
- ・ 共有の場合どうすべきか
- ・ 石垣も入れるべき
- ・ 一部しか道路上の部分しか出ないので、自宅構造上出ないことが残念
- ・ 専門家のチェックで無料の修善(さぎに合わない為に)
- ・ 避難路にて危険性の高い物件は強制的に改善する
- ・ 補助金制度の順番を待ってたら間に合わないので工事後に補助金が出るとうれしいのに(我が家はブロックにキレツがあったので自費でやりました)
- ・ 県条例でブロック塀を規制、全面撤去させるべきだ。
- ・ 倒壊する危険性の有る家へ期限と決め改修・補強させる。守れない場合罰則金を徴収する
- ・ 町内の危険ヶ所を把握し住民へ積極的に制度利用等を促す
- ・ 危険と思われる施設や家への戸別指導
- ・ ブロック塀は取り壊しています。フェンスに変えてる
- ・ 隣の家の塀なのでこちらは何とも言えないが、正直崩れるのではないかと心配している。自身の家だけでなく、隣家で悩んでいる家にも働きかけないと意味がないですよ。
- ・ パトロールと該当家屋への連絡、対策へのアドバイス
- ・ たくさんの人が行き来する道でないとされた
- ・ いつも家にいない人の所はどうか
- ・ 一戸あたりの宅地面積(道路面積)を拡大する、都市計画の見直し
- ・ 補助範囲の多少の部分は、臨機応変に対応してほしい
- ・ 実際に被害を出してしまった人の後悔等の実体験
- ・ 学校で、通学路への危険な所は、配布。(3月に)
- ・ 倒壊防止の工事をしてもらうのに条件があるらしいがそういうのはやめたらよい
- ・ お金が無。その日暮らしなのに預金も無。なにも出来ないよ。
- ・ 通学路など倒壊時の影響が大きい箇所を中心に町が責任をもって管理を行う。
- ・ 倒壊の可能性があるのに放置していた場合の罰則など、条例の制定
- ・ 身近な人から教えてもらう。申請など、手続きを一緒にしてもらう
- ・ 個人宅ブロック塀の倒壊により生じる賠償リスクの周知
- ・ 個人宅だが空き家で所有者不明の場合は、行政が塀を撤去できるように仕組みを作ってほしい

問 38 問 37 で「3. 診断を受けたことはない」と回答した人におたずねします。

耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。（回答者 88 人）

- ・借家のため(43)
- ・近いうちに受けたいと思っている（2）
- ・わからない（2）
- ・自宅ではないから（2）
- ・2000年に建ててるため
- ・宗教法人だから
- ・マンションの為
- ・県営住宅
- ・めんどくさい
- ・簡易補強済み
- ・公営団地
- ・改修費用がない
- ・借主にはできない
- ・若い人に任せている
- ・自身の診断で（建築士）
- ・今後利用しようと思っている
- ・寮なので知らない
- ・大工による耐震リフォームをした。
- ・賃貸で出る予定
- ・理由はない
- ・急ぐに避難出来ると考えている
- ・市営住宅なので診断は受けない
- ・耐震の事など周知が来ない
- ・耐震化しても液状化で全壊
- ・自宅は少し耐震しています
- ・親族の持ち家なので勝手がきかない
- ・平成20年ごろリフォームした
- ・親から受けた話を聞いたことないから
- ・耐震をお願いしたいと思っています
- ・年数的に大丈夫かな（平成17年建築）
- ・家が古くて耐震をずっとしたいと思ってますが家の中の片付けがなかなかすすまず、今にいたってます
- ・家の下が鉄筋コンクリートの車庫であり、前に見てもらったら耐震の補助は受けれないと言われた
- ・官舎の為どうしたら良いか分からないが、管理者等に要望を出し確認してもらっている
- ・高齢のため、いつまでここで住めるかわかりません
- ・自身が所有している家ではないので理由不明
- ・少し、チラッと大工さん見てもらい、多分大丈夫と話されていた
- ・新築にして1年経過したばかりであったから
- ・診断を受けて、助成金で一日でも早く今より安心できる家にしたいがどんな書類がいるのか？どこでどうすればしてもらえるのか分からない。娘に書類がほしいと言ってお願いしたが、そのまま。
- ・前に住んでいた方が診断したか不明(4年前に引っ越してきたので分からない)
- ・耐震化しても地震後改修が必要になる
- ・耐震診断はを受けていないですが、3年前くらいから外壁の貼り替え、断熱材を（天井、外壁）に張ってもらっています。その時に補強もお願いして終わりましたので、安心して過ごしております
- ・大家さんが施設に入っていて連絡がとりづらい
- ・鉄骨と木造の混合建物であるので（混構造）耐震診断をしてくれる建築士がいない。いたとしても相当な高額になると言う事です。昨年高松市と大阪府の建築課に問い合わせましたが、今まで混構造の診断補助は1件もないとのことでした

問40 問39で「3. 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない」、「4. 検討中」と回答した人におたずね  
します。

耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。（回答者 18人）

- ・借家のため（9）
- ・建て替え費用などない
- ・自宅ではない
- ・10年前に建てた家なので耐震になってるかわからない
- ・緊急性が低いと思われるから（診断でそういう話だった）
- ・診断してくれた業者さんが忙しく順番が来ない
- ・築年数が古いため（2）
- ・わからない
- ・持ち家ではなく、自由がきかない

問43 今後、耐震化を促進するために、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（回答者 28人）

- ・わからない(2)
- ・耐震工事を申請して工事待ち
- ・地震保険の支払基準を拡張すべき
- ・町内会単位で対策をとらす
- ・無料で全戸やってほしい！
- ・建物が古すぎる
- ・高齢で費用の面で出来ない
- ・リフォーム1/3が必要補助金はいくら。
- ・悪徳業者を取り締まってほしい。ひどい目に遭った！
- ・一階が鉄骨の店舗が有り、2階が木造住宅になっている住居の耐震診断を高知市に申請したが、鉄骨部分有り耐震工事費用が出なかった為、耐震工事が出来てない！！50年近くになる古いですが工事は無理です。
- ・今は、税金を払うので精一杯の生活で、全く余裕がありません。
- ・混構造の家屋、他の人は知らないが自分はなすべがない
- ・昭和56年6月以降の家はどこにいえばいいのかね
- ・昭和56年以降の木造住宅でも耐震に不安のある場合は耐震診断をしていただきたい。震度7以上に耐える地盤、構造かとても不安です。
- ・昭和57年の木造住宅なので耐震診断してほしい。（昭和56年5月以降は耐震基準が変更になったのは知っていますが、不安があります）
- ・生き残った人たちの中での病人や傷病者への迅速な手当と、処置ができるように、ヘリでの搬送、病院屋上へのテントや仮設治療所の設置等を。
- ・戦前（意味わかりますか？）の建物で老朽化も進み倒壊は確実だと思われるが、耐震の建て替えの支援のみではなく、耐震防護ベッド等への補助制度はなぜないのか
- ・相談にいても、話をろくに聞かず、あちこちと回される。
- ・耐震の度合が不明確、地震の規模が不明なので実施不可
- ・マンション、一室借りて住んでいる
- ・耐震診断士が本当に信頼出来るか心配
- ・隣の家で悩んでいるお宅への聞き取り
- ・不動産業者の不正取締まり強化
- ・役所と業者の癒着
- ・個人の責任であると思う
- ・建築年度に関係なく耐震診断が必要と思う。

問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(回答者 59人)

- ・借家のため(22)
- ・町営住宅(3)
- ・家が古いから
- ・公営住宅
- ・効果に不安がある
- ・設置しているかわからない
- ・知っているが、まだ設置していない
- ・特に理由なし
- ・忘れていた
- ・多分設置している
- ・業者にまかせた為、感震ブレーカーかどうか不明
- ・建築計画時にそこまで頭がまわらなかった
- ・誤作動するのではないかと心配
- ・最近チラシ等で知ったが必要なかどうかよくわからない
- ・最近知ったため設置してなかったが今後設置予定
- ・作れるが作ってない(おもり+テグス→主ブレーカレバー穴へ)
- ・子どものため
- ・(家主・世帯主ではないため)
- ・重りがぶら下げられる形のブレーカーではない為
- ・耐震で、しなくてはいけないことがたくさんあり、何から先にやればいいのか、さらに仕事が忙しくなかなか行動にうつせていない
- ・変電所が止まるので、個人対策は不要と考えている
- ・夜中に停電は困る。少しでも明りが有れば避対応が出来る
- ・カバーがあって設置しにくい状況なのでまだどうしようか迷っていて、手動で下ろすと考えているため
- ・マンションのため(4)
- ・大家さんに相談や許可が必要(2)
- ・検討中
- ・社宅のため
- ・工務店にいたため
- ・設置しようと思ってる
- ・遅れている
- ・必要であることを知らなかった
- ・夜間に照明が消えると支障あり
- ・感震ブレーカーかどうかわからない

問 49 あなたの自宅が壊れて、長期間帰宅できなくなってしまった場合、どこで避難生活を送りますか。  
(回答者 36 人)

- ・ わからない (4)
- ・ 実家 (3)
- ・ その時にならないとわからない (2)
- ・ 不明 (2)
- ・ 家族と相談
- ・ 県内の別宅
- ・ 仕事場 (病院)
- ・ 施設ハウス
- ・ 出張先の家
- ・ 避難生活する場所がない
- ・ 自宅は賃貸なので、県内郡部にある実家、自家用車
- ・ 庭にコンテナハウス、ガレージがあるためそこで過ごす
- ・ 倉庫 (4)
- ・ 息子の家 (3)
- ・ 農業用ハウス (2)
- ・ 職場 (2)
- ・ 壊れない
- ・ 高台の別宅
- ・ 子供の所
- ・ 民間宿泊施設
- ・ 納屋
- ・ 病院

問50 問49で「4. 自家用車の中 (車中泊)」、「5. テント (野宿)」と回答した人におたずねします。  
自家用車の中やテントで避難生活を送る主な理由は何ですか (回答者 12人)

- ・ 避難所に行く方法がない (2)
- ・ 県内の実家
- ・ 自由でいたい
- ・ 人がいると落ち着かないから
- ・ 他者の声いびきなどで安心してすごせないため
- ・ 妊婦のため避難所生活を送れるか心配
- ・ 公務員なので職場で災害対策に従事する必要がある
- ・ ストレス回避
- ・ 持病もちなので
- ・ 車中泊できる車がある
- ・ 避難所が近くにない

問51 あなたが避難所生活を送ることを考えた時、特にどのようなことが不安ですか。 (回答数 24人)

- ・ 性被害 (5)
- ・ 犯罪に巻き込まれる懸念 (2)
- ・ いびき等人に迷惑がかからないか不安
- ・ 義理の母が認知症である
- ・ 避難所運営がきちんとできるか不安
- ・ 持病薬の入手
- ・ 学校の体育館が避難所だが、エアコンがあるか、一人で避難の場合、防犯対策ができるか
- ・ 子どもが発達障害の傾向があり、環境の変化により喘息やストレス性の体調不良、パニック症状が起こりうる。個室や十分なスペース、音が遮られる空間など安心できる場所がどこかに確保できるとよい。
- ・ 足腰が悪くて、動作がおそい事で不安
- ・ 感染症拡大 (3)
- ・ 家族が高齢であること
- ・ 我が子の心身の安全、性的なことも含め
- ・ 問題を起こす人がいること
- ・ 服薬中の薬が手に入らなくなる不安
- ・ 職場までの移動

- ・乳幼児用の食料や女性用の生理用品等があるか不安
- ・目が悪いため常にハードコンタクトレンズを着用しているが、水が自由に使えない避難所ではコンタクトレンズを清潔に保つ事ができず、裸眼で生活を送らなければならない恐れがあること。

問55 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。(回答数 33人)

- ・集合住宅の住民への周知
- ・自分達が高齢で障害があります
- ・役員などの世代交代を図る
- ・高齢者ばかりで活動は困難
- ・色々あるがマンパワー不足
- ・形だけの訓練なのでだめ
- ・避難所の運営
- ・実際の避難生活の体験
- ・関りたいが、高齢のため残念ながら迷惑をかけるだけとなる
- ・町内会が仲良くないグループもありなかなか協力出来ないと思う
- ・自分自身が眼や身体が不自由で、考える心の余裕がない
- ・若い世会の認知度の低さを感じる。SNS等でしつこくても良いから、まずは知ってもらおう
- ・避難所の現状の広報→知ってないと行動できない
- ・役所職員の知識向上、聞いても分からない事が多い
- ・私の町内には商業地域で、元々住民が少ない
- ・もっと若い世代が前に立ってやる。年配の方が多い
- ・私達の所は毎年カレーを作るだけで…ただの地域のおたのしみ会みたいで意味がないです
- ・地区の世帯は多くないが、各世帯の住んでいる人の状況は把握出来ていない。個人情報に盛んに言われているので、行政にも頼れない。どうやって把握していくかが喫緊の課題 更には津波浸水予想地域なので、一番近い山に少しだけ広い広場を作っただけの避難場所であるので、雨を避ける屋根もなく、半日いるのは大丈夫としても、夜をあかすには不安だらけ 備蓄倉庫も一つしかなく倉庫が足りていないが町も倉庫の予算はないとのこと 自主坊には備蓄品を交換していく予算ぐらいしかない 欲しい備品もあるが倉庫が足りないので買えない 避難場所に関しては不安しかない
- ・町の防災組織は、男性メンバーが中心、重鎮のような人がいて形式的な雰囲気がある。女性や子ども、目に見えない障害者への理解を深め、配慮がしっかり行き届くような研修が必要と感じる
- ・独居で仕事をしている為、訓練が行われている事は知っているが参加出来ない。参加出来ない住人への情報提供が欲しい
- ・津波浸水予測地域であるため、まずは津波避難について周知徹底する
- ・公務員なので発災時はそっちの対応になるため
- ・活動を知らない人が多いように思う。もっと活動を周知して参加者を増やせたら良いと思う
- ・ペットとの避難できる場所の選定
- ・組織があるかも分からない。あるなら活動の周知が必要
- ・防災訓練専門家の派遣
- ・高齢のため人に迷惑をかけたくない
- ・冬の避難訓練
- ・アパート等の住民は、地域での活動が難しい
- ・地域住民による避難所の運営訓練
- ・みんなが交流しておくだけで意味があると思う
- ・防災修外の日常的なつながりを作る活動
- ・足が悪いのでいけない

問57 問56で「1. 入団し、積極的に参加している」、「2. 入団し、時々参加している」、「3. 入団しているが、あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。（回答数 2人）

- ・体力がない
- ・75歳、高齢だから

問58 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。（回答数 29人）

- ・飲み会が多い（4）
- ・わからない（2）
- ・いつ活動しているかわからない（3）
- ・子がいるため参加できない
- ・高齢なので迷惑をかける
- ・夫は消防団員でしたが退職しました
- ・女性が入りにくい
- ・自分の地域区は年齢的に活動が難しい
- ・体調不良の為、無理です
- ・地元の人の人間関係が面倒
- ・年齢的に無理
- ・臨機応変に動ける知識が必要
- ・特にイメージを持っていない
- ・そもそも活動について、どのようなことをされているのか把握できていない
- ・ダラダラとしている。実際知り合いの消防団が食事会ではしゃぎまくりだから
- ・以前に比べれば、活動が少なくなっているから、よく分からない
- ・私は聴覚障害者ですので…。危険ですので控めにお願いしたい
- ・自己満足の人が多い。やってはいけない事が伝統的に行われる
- ・主人が若い時に入団していて、火事時には皆んな活躍しました
- ・消防団は役場職員も多く、災害時はその人たちは行政に回るので、そう考えると人手不足
- ・地区の消防団は近所の火災時につけ消火に協力する。今は消防団はありません
- ・入団していたが、単身赴任で出張が多かった為、辞めろと言われたので辞めた
- ・入団のしかたがわからない。消防団について、あまり知らない。

問59 どうすれば消防団に興味を持ってもらえると思いますか。（回答数 60人）

- ・わからない（16）
- ・報酬を充実させる（7）
- ・具体的な活動内容の周知（5）
- ・活動時、仕事の休みを有給にするなど（2）
- ・100%起こる災害に対する意識の共有、地域との連携の広報
- ・ご近所さん同士での声かけ
- ・そもそも消防団に興味がない
- ・しょっちゅう飲み会がある！
- ・どう活動しているかわからない
- ・ボランティアで命を掛けるか
- ・メリットの強調
- ・義務化してはどうか
- ・古い体質からの脱却
- ・団のモラルやイメージの向上
- ・地域の祭りや催しで活動内容を紹介する
- ・地域の方とのふれあい
- ・地区に若い人が少なく老人が多いです
- ・町内会との連携
- ・入団することによるインセンティブが発生する
- ・不明
- ・老朽化した屯所の建て替え操法大会廃止
- ・学校等に出向き、大切さを知ってもらう。やがて成人した時、入団してくれる人がいるのでは

- ・割引ではなく訓練日などの食事の公費負担、大地震対策の団員の優先実施
- ・高齢者に付、参加しても迷惑を掛けるので、消防団の方に頑張ってもらうと有りと有らゆる事をしてもらって、若い人達に参加してもらえる様さまざまなPRをしてもらったらと…と思います
- ・私も消防署内部の団体のことだと勘違いしていた。まずは認知向上
- ・自宅はあるが、仕事で地区外へ行っている人への対応又、その逆
- ・実際におこる地震の時に、どのような動きがあるのか知りたい
- ・小さいお手伝いでもよいという状況であれば興味がわく
- ・小中学校等を通じて、保護者、こども対象のイベント、学習会の開催
- ・消防団はとても大事な事をしているが、私は団に属さないで災害時に自分の地域の方に直接関わられる自主防災で頑張りたい
- ・体力のある若者が加入するよう非常勤手当を高額にする
- ・中・高・大学生への教育、事業所単位で団員登録する
- ・体調不良の為、無理です

問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。

具体的にはどのような訓練に参加しましたか。（回答数 10人）

- ・業務継続訓練
- ・医療
- ・災害VC運営訓練
- ・災害時透析受入訓練
- ・避難場所（通路含む）の掃除、防災機器の整理
- ・町内会の避難場所、避難所の地図上での確認
- ・非常食試食（消味期限間近の）※入れ替えの為
- ・DMAT 参加で職場（医療機関）での地震発生後のトリアージ訓練、対応等
- ・院内救護所での救援活動
- ・プライベートスペースをつくる為のテントや、ダンボールバットの組み立て、簡易トイレの作成など

問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

（回答数 42人）

- ・わからない(6)
- ・高齢者が多く、参加が難しい(6)
- ・学校を通じて、参観日等に授業の一環として行う(2)
- ・皆自分の生活で手一杯
- ・参加しない人はしない
- ・形だけだから参加しない
- ・参加しやすい時間に開催
- ・減税
- ・今は体力的に無理
- ・何もしない
- ・何をしても参加者が増えるとは思えない
- ・充分やってくれている。
- ・足が悪いので動けない
- ・知識として、回覧板で情報を回す
- ・日時以外にもする

- ・ 日常で利用しやすい特典を配布
- ・ 報酬を発生させる
- ・ 放送やSNSなどの情報発信
- ・ 毎日の生活に追われてそんな時間はない
- ・ 「3. 訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する」、「5. 参加を義務化する」の折衷案として曜日や時間帯の異なる複数の日程を設け、年に1回は参加できる環境作りを行う
- ・ 1946年の南海地震の記録などを視聴する機会をつくる。
- ・ スーパーなどで開催する（気軽に）立ち寄り参加可能にする
- ・ なかなか仕事などで時間をとれない人にも参加しやすい方法を考える
- ・ 会社が有休で対応するなど協力があれば参加を考える
- ・ 訓練日を決める、避難場所を示したパンフレットの配布
- ・ 国家及び地方公務員（行政）の義務化しか無い
- ・ 参加しても具体的な知識の向上につながらないです
- ・ 自分が参加する力がないのに、他人には言いづらい
- ・ 炊き出し訓練や避難所体験等を実施、体験してもらう
- ・ 地域の消防署の方が来てくださるが、県から派遣するなどさまざまな視点で起こりうること、対処法などを学べると良い。（毎回内容が同じで、形骸化していく）。建物自体が倒壊の危険性があるので、訓練通りには絶対にならないだろうと感じる
- ・ 毎回同じ訓練内容なので、新たな（目新しい）内容を取り入れてほしい

問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

（回答数 26人）

- ・ わからない(5)
- ・ 必要ない
- ・ 地域がまとまっていない
- ・ 各自治体の真剣さが伝わる施策
- ・ 個人の備蓄推進
- ・ 既に十分に行われていると思う
- ・ 地域住民の人間関係が難しい
- ・ 住民が高齢化の為、全ての事が困難
- ・ 避難所運営のシミュレーション
- ・ 防災用の公園を整備する
- ・ ハザードマップの見方が子どもには分かりづらい
- ・ 過去の南海地震等（稲村の火）などのアピールをする
- ・ 頑張ってくれてます。してないものが「必要」などと失礼なこと言えません
- ・ 近所との関係づくりは出来ているが皆が年寄りばかりで自分が迷惑をかけない様にする事
- ・ 個人でものごとを考えられる人材の育成（緊急時において）役所／他人にばかり頼らない。
- ・ 高知県の人でも、南海トラフ地震について、知らない人も、まあ、いる。デマ、ウソだと思っている人もいる。40代の知人・友人、に、→地震や津波について、話しても、「大げさね」「もう想すごいね」「来ないよ」と言われた。もちろん備えもしていない。
- ・ 高齢者が多いので防災力を高めるのは厳しいと思う。
- ・ 市、県、チラシあかるい町などに載せれば役割をはたしたと思っている。
- ・ 若い人が減りすぎ。忙しすぎ。職場単位で消防団を組織化を促す。
- ・ 人命救助のためのジャッキ配備（今の車にはジャッキはついてない）
- ・ 地域、マンションでの防災訓練の義務化
- ・ 津波災害が予想される町なので、とにかく、逃げる事が最重要。逃げることを諦めてしまうことがないよう啓発していくことが大事

問67 県が行っている施策のうち特に力をいれるべきものは何ですか。（回答数 17人）

- ・ わからない(5)
- ・ インフラ整備と、都市計画
- ・ 避難所のトイレ問題を強化！
- ・ 県内災害拠点病院への日頃からの支援
- ・ 壊れずに残った学校の教室等をうまく活用するといいいのでは
- ・ 土建業者の重機で道を通れるよう手配する体勢作り
- ・ 皆、住んでいる状況は違うので、個々の家の位置で起こる事は個々に通知する
- ・ どこで被災するかわからないから、海岸淵の国道の避難道をわかりやすくする。短いスパンで
- ・ 子どものケア
- ・ 知らない。真剣さが足りない。
- ・ ペットと避難できる環境作り
- ・ 地震保険料の補助と支払基準の拡大